

# 多摩市 気候市民会議

## 第4回 脱炭素に向けた取組

市民・行政・企業が協働でできることを考えよう

2023年 7月 8日(土)

13:30~17:15 @多摩市役所

# はじめに

---

- ・ 注意事項
- ・ 非常口の確認
- ・ 記録撮影の承諾
- ・ 欠席時の連絡等

## 1. 多摩市が脱炭素社会に向かうために、 様々な主体がすべきことを考える

この気候危機を私たち一人ひとりが当事者として捉え、「何をすべきか」、「何ができるか」そして「地域としてできること」、「行政や民間事業者がすべきこと」などについて話し合う。



## 2. 多摩市気候市民会議の提案をまとめる

脱炭素に向けた取組の提案を考える。

ご提案いただいた内容は、  
「次期多摩市みどりと環境基本計画」の  
具体の取組に反映していく予定です。

## 「多摩市みどりと環境基本計画」とは？

本計画は、第五次多摩市総合計画で掲げる目指すまちの姿のひとつである「人、自然、地球 みんなで環境を大切にするまち」の実現に向けて、みどり分野と環境分野が密接な関係にあることから、両分野の総合的な計画として策定するものです。



# 全5回の進め方

5/13

## 第1回：キックオフ

気候変動対策が進んだ先の、多摩市を考えよう

／  
目指したい姿  
＼

5/27

## 第2回

### 脱炭素に向けて 生活編

身近な生活の中でできる、  
取組や工夫を考えよう

6/17

## 第3回

### 脱炭素に向けて 社会編

脱炭素に向けて、  
まちに必要な  
機能やしくみを考えよう

／  
具体策  
＼

本日

7/8

## 第4回

### 脱炭素に向けた取組

市民・行政・企業が協働でできることを考えよう

／  
しゅくみ・体制  
・広げかた  
＼

投票

とりまとめ

7/29

## 第5回：まとめ・振り返り

とりまとめを確認しよう・気候市民会議を振り返ろう

# 本日の目的

## 第4回

「市民提案」のとりまとめに向けて、  
脱炭素の取組を実現していくために  
市民・行政・企業が協働でできることや  
実現に向けたプロセスを  
考えよう

# 本日の進め方

- 目的と進め方（5分）
- 前回の振り返りと投票結果の共有（20分）
- 情報提供 脱炭素に向けて：取組を実現させるために（30分）

金子 貴代 先生

再エネ100宣言 RE Action事務局 ネットゼロリンク合同会社 代表

休憩（10分）

- グループワークの進め方（5分）
- グループ別意見交換（90分）

休憩（5分）

- 全体共有・アイデアを豊かにしよう（40分）
- 総評：江守正多先生（10分）
- 次回のご案内・アンケートの記入（10分）



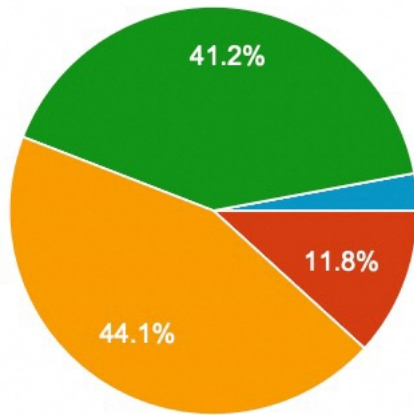
# 各回の アンケート 結果



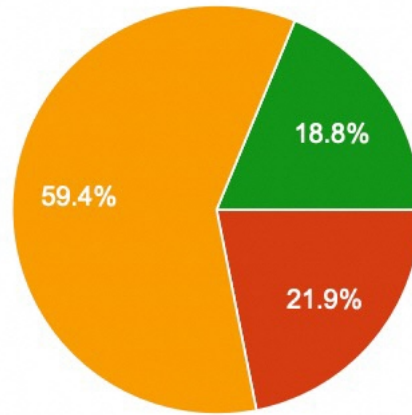
# 事前～第3回終了時アンケートの単純比較1

事前Q2 気候変動についてどれくらい知っていますか

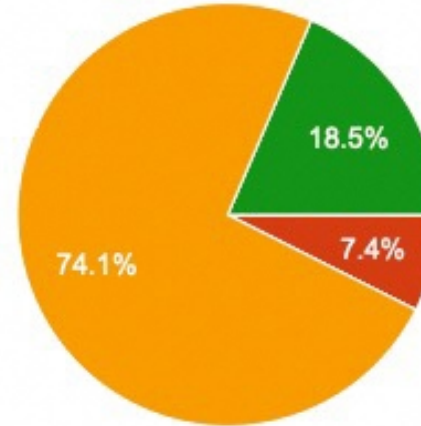
事前



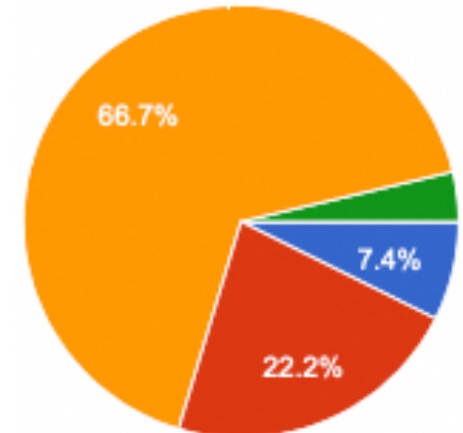
第1回終了時



第2回終了時



第3回終了時



- 非常に知っている
- よく知っている
- ある程度は知っている
- 少しだけ知っている
- 全く知らない
- わからない

10.1ポイント増  
15.3ポイント増

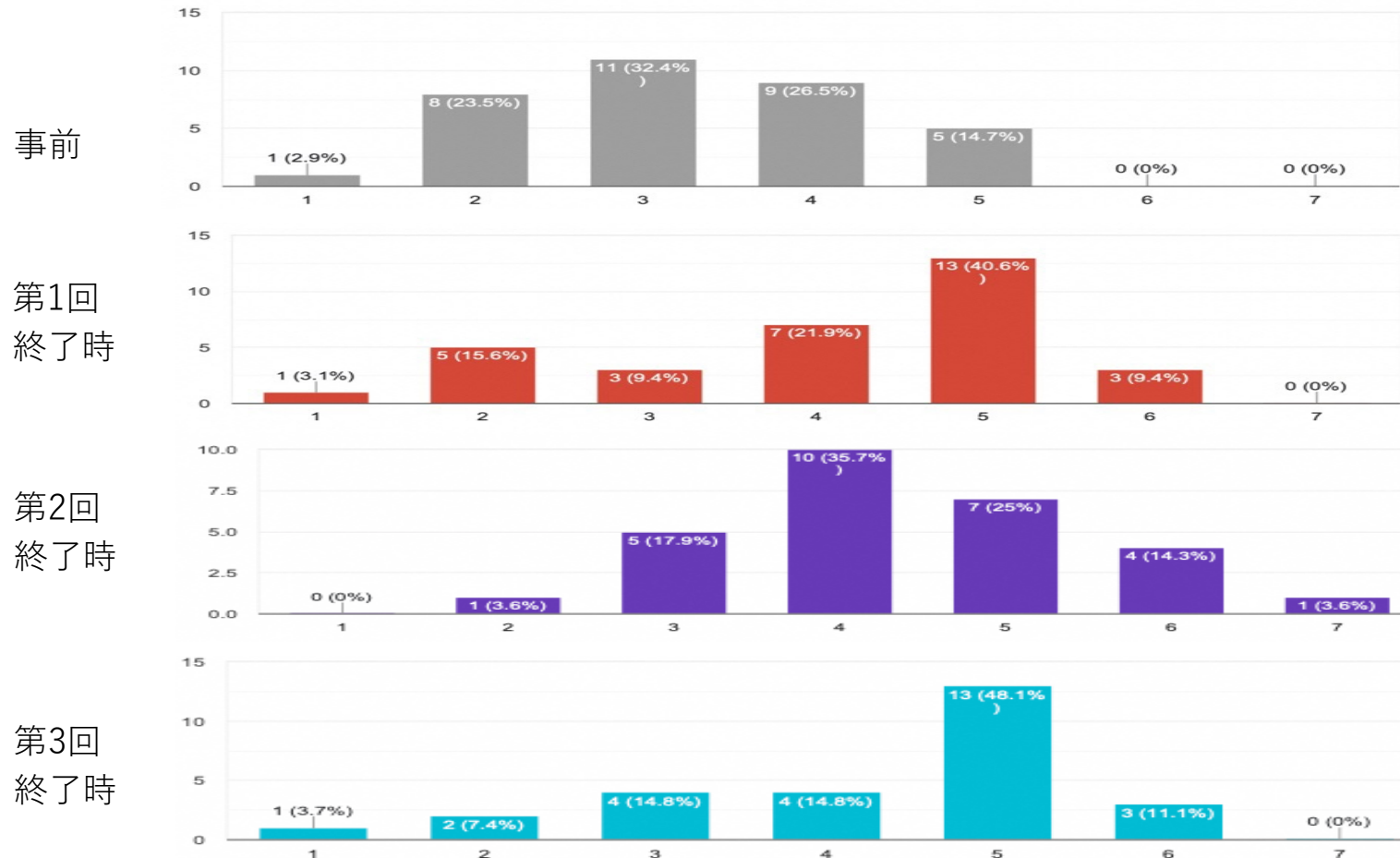
14.5ポイント▲  
14.7ポイント増

7.4ポイント増  
14.8ポイント増  
7.4ポイント増

非常によく知っている、  
よく知っているが増えた

# 事前～第3回終了時アンケートの単純比較4

事前Q6 パリ協定では、化石燃料の使用など人為的な要因による温室効果ガスの排出量を、今世紀後半に世界全体で実質的にゼロにする、という目標が合意されました。あなたはこの目標を、どれくらい実現可能性のあるものだと思いますか。



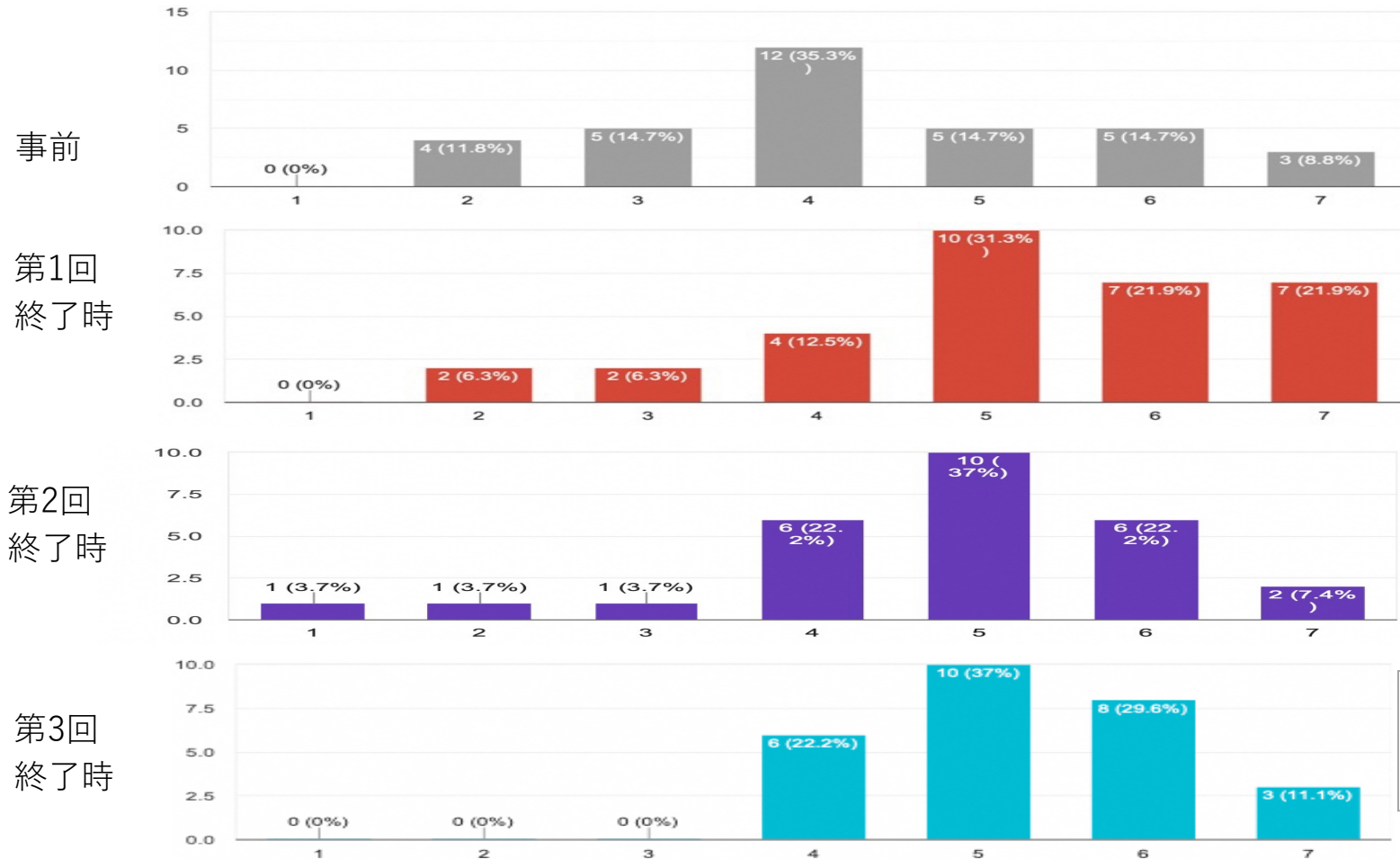
5に集まって  
きている

実現可能性がきわめ  
て乏しい

実現可能性が十分に  
あると思う

# 事前～第3回終了時アンケートの単純比較5

事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。



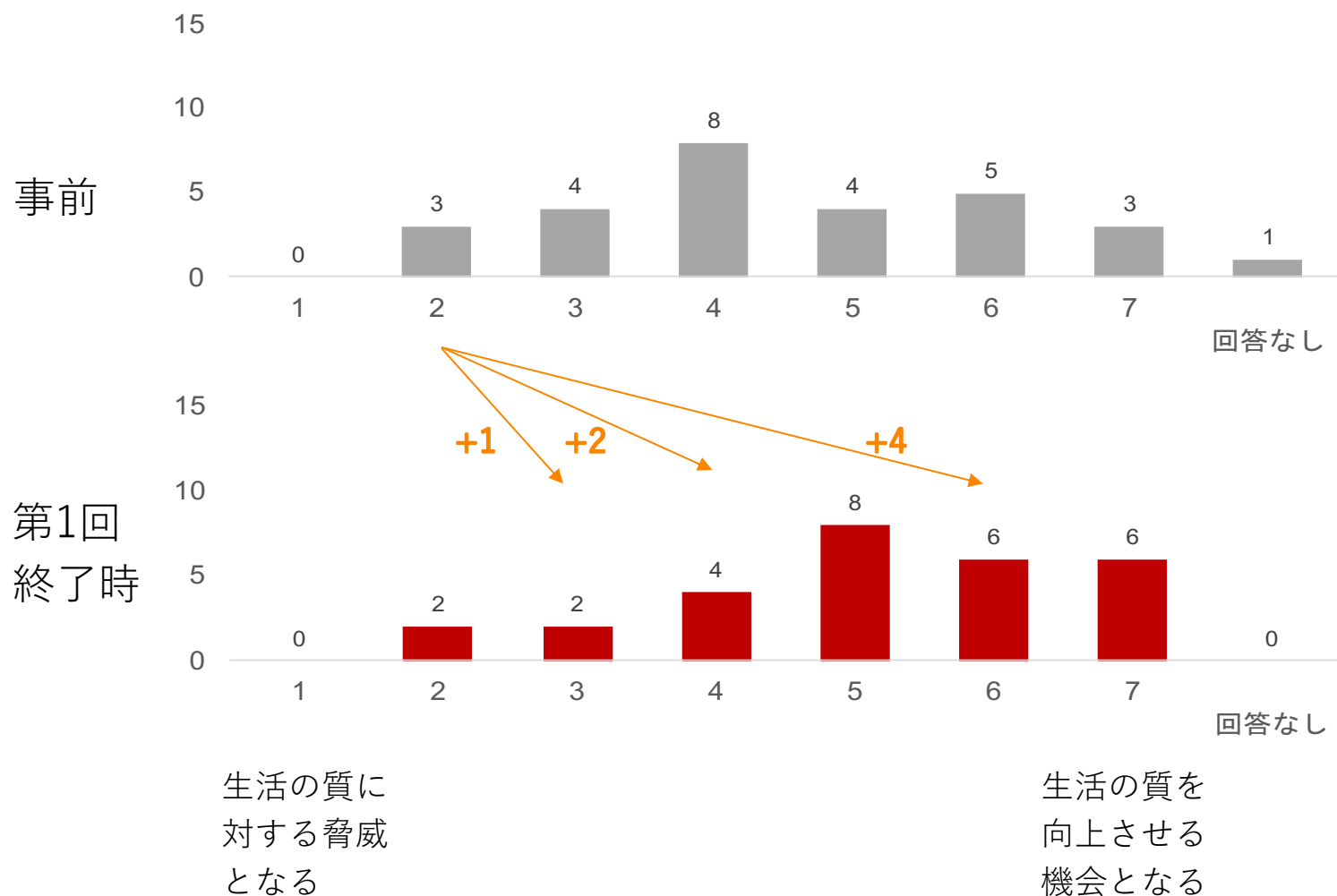
7は減り、4～  
6に集まる

生活の質に対す  
る脅威となる

生活の質を向上さ  
せる機会となる

# 事前および第1回終了時アンケートの追跡(28名分) 2からの移動

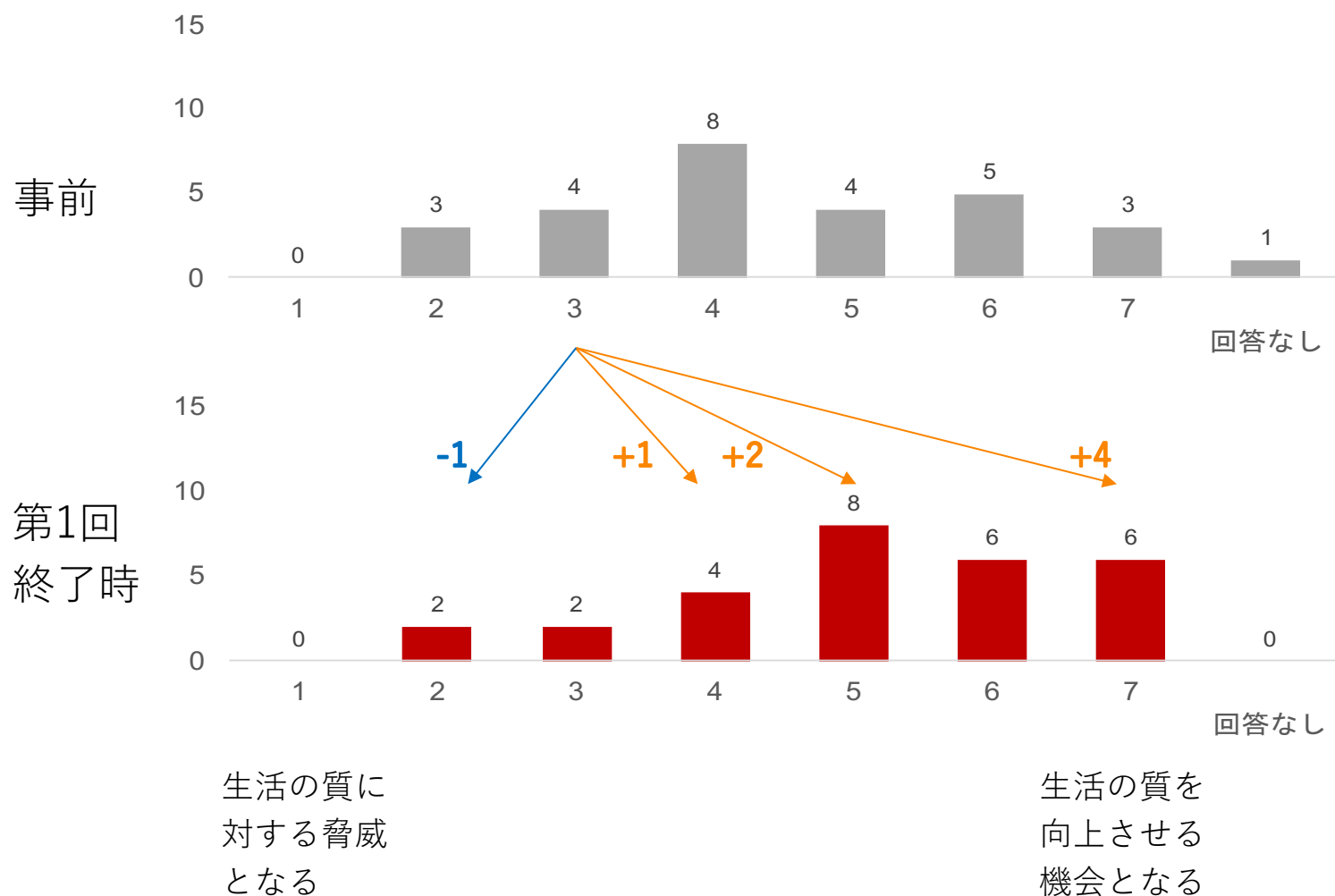
事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。





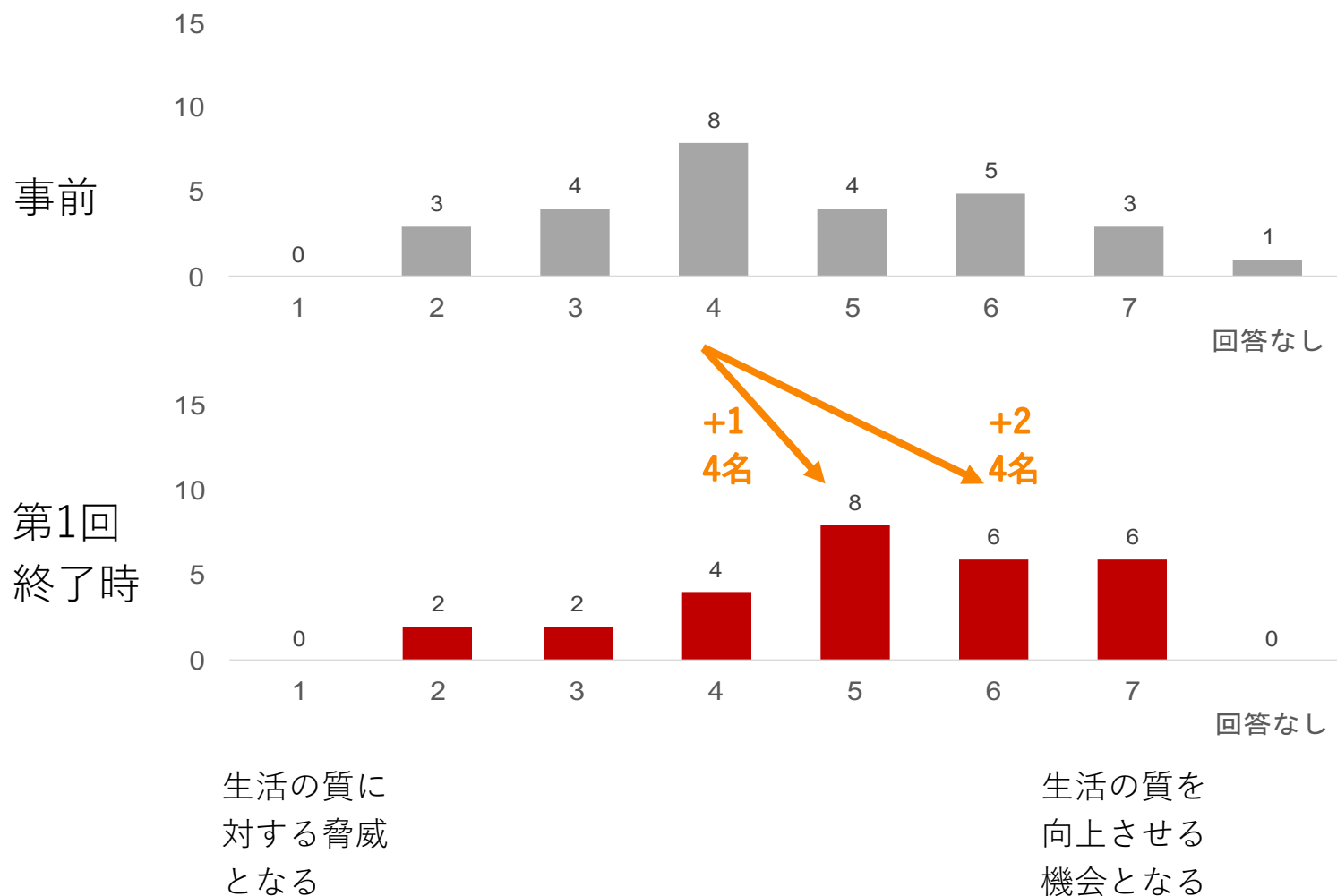
# 事前および第1回終了時アンケートの追跡(28名分) 3からの移動

事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。



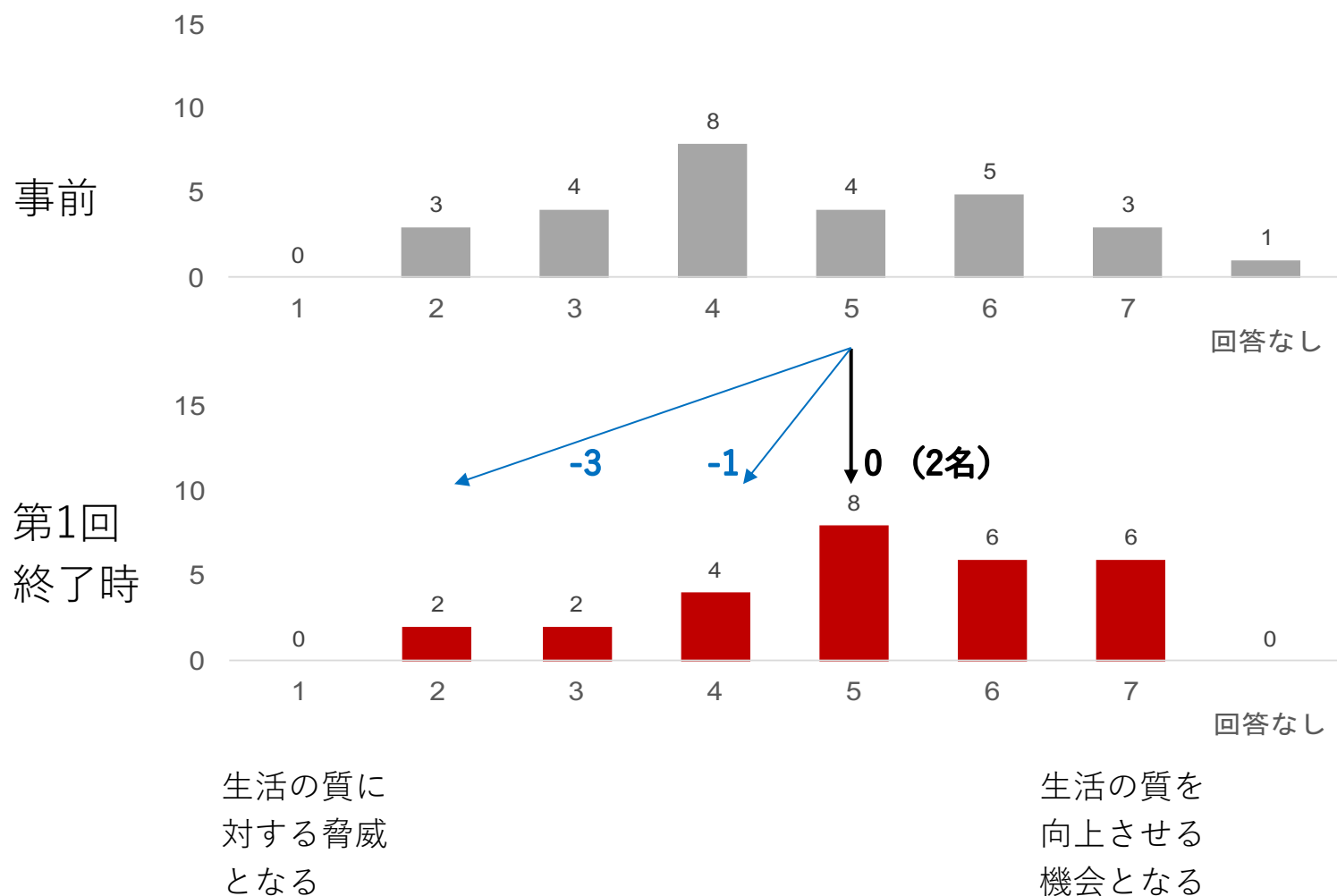
# 事前および第1回終了時アンケートの追跡(28名分) 4からの移動

事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。



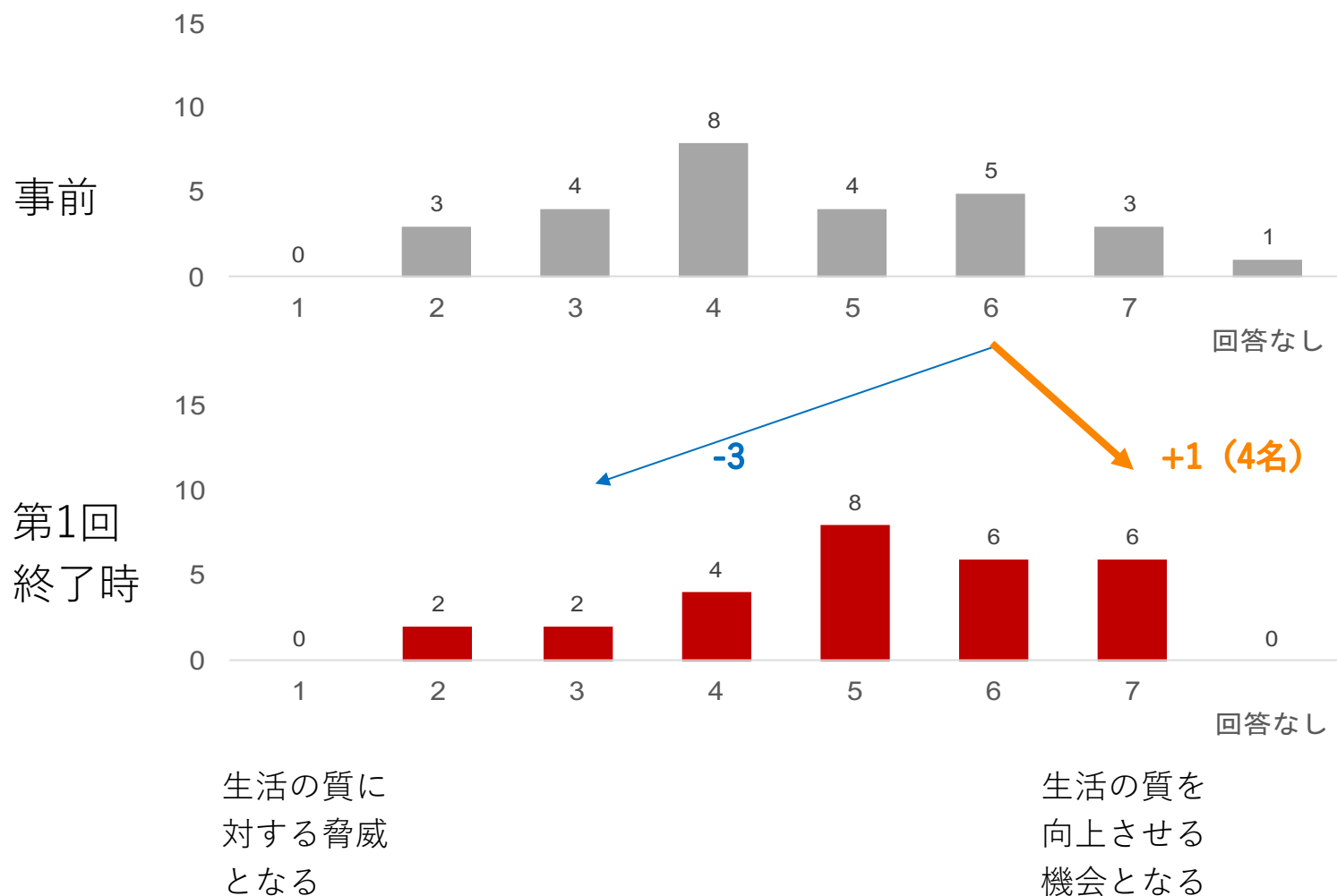
# 事前および第1回終了時アンケートの追跡(28名分) 5からの移動

事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。



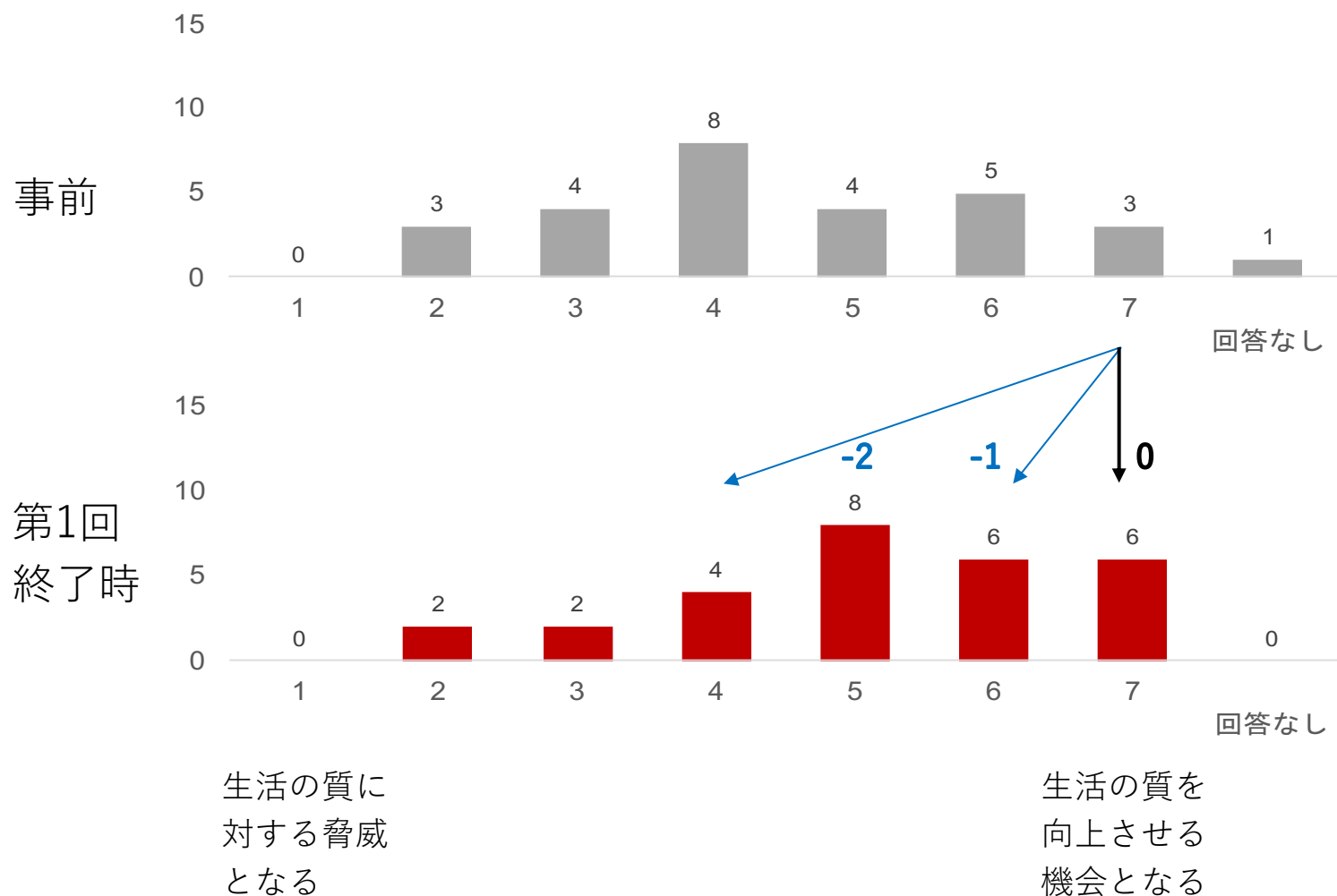
# 事前および第1回終了時アンケートの追跡(28名分) 6からの移動

事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。



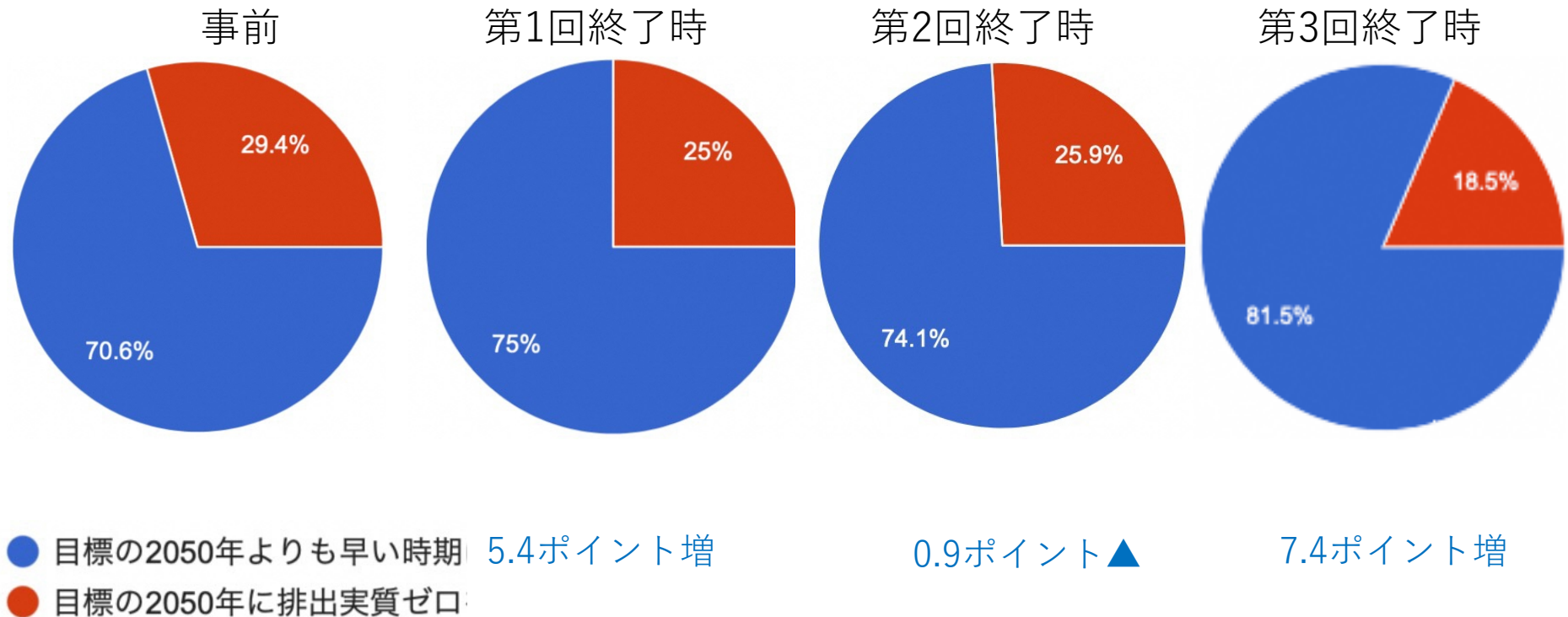
# 事前および第1回終了時アンケートの追跡(28名分) 7からの移動

事前Q7 脱炭素社会への転換は、多摩市民の生活の質に、全体としてどのような影響を与えると思いますか。



# 事前～第3回終了時アンケートの単純比較6

事前Q8 多摩市民が現在目標として掲げている 2050 年よりも早い時期に、市内における温室効果ガスの排出実質ゼロを達成する可能性を追求すべきだと思いますか？

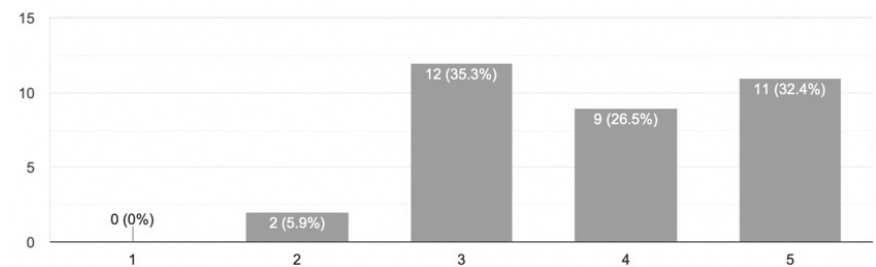


札幌では、第3回終了後に35%だったので、非常に高い

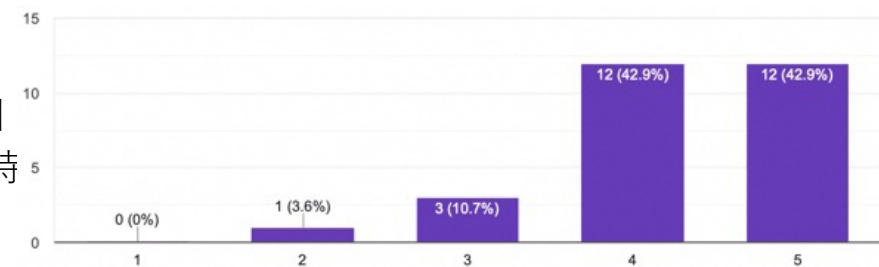
# 事前・第1回・第2回終了時アンケートの単純比較11

## (4) 住宅でのエネルギー効率の高い機器への買替え

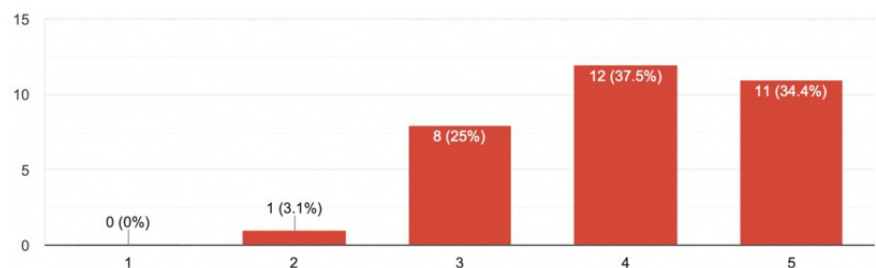
事前



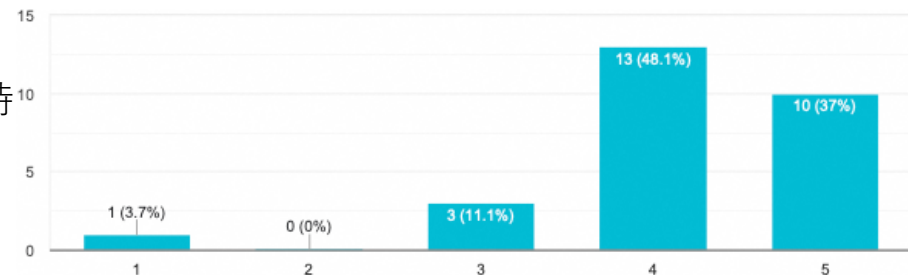
第2回  
終了時



第1回  
終了時



第3回  
終了時



全く重要  
ではない

非常に重  
要である

全く重要  
ではない

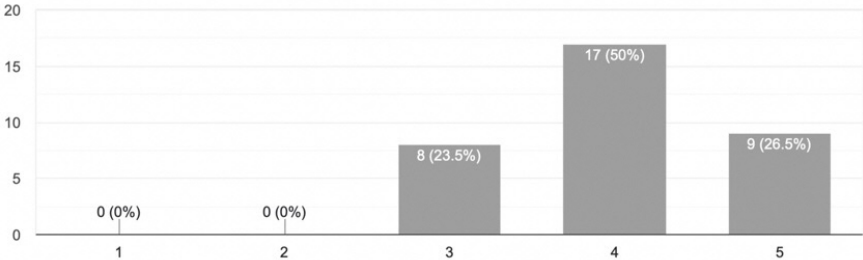
非常に重  
要である

重要側に少し寄っているか

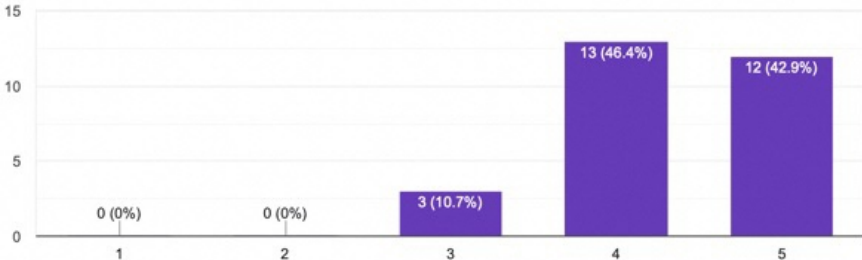
# 事前・第1回・第2回終了時アンケートの単純比較12

## (5) 住宅の断熱回収

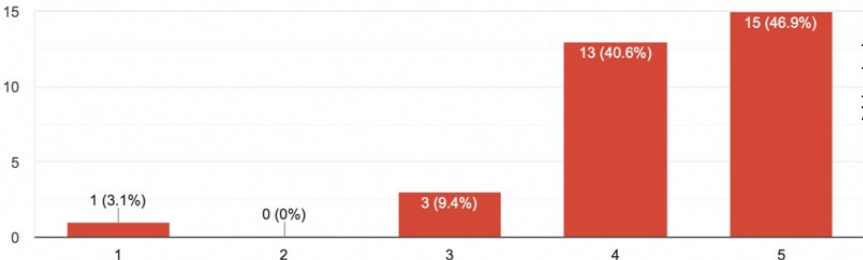
事前



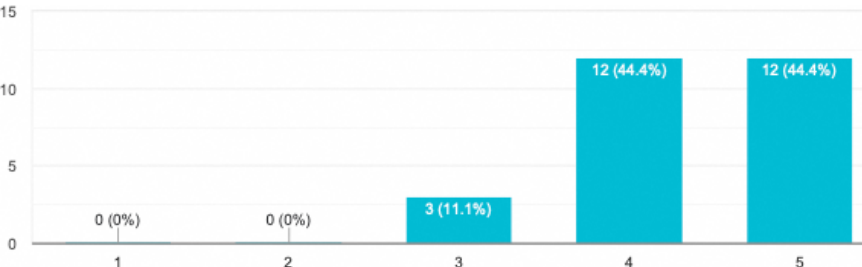
第2回  
終了時



第1回  
終了時



第3回  
終了時



全く重要  
ではない

非常に重  
要である

全く重要  
ではない

非常に重  
要である

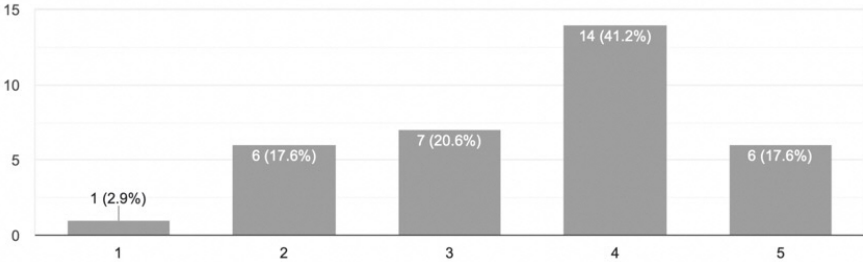
重要側4に少し寄っているか



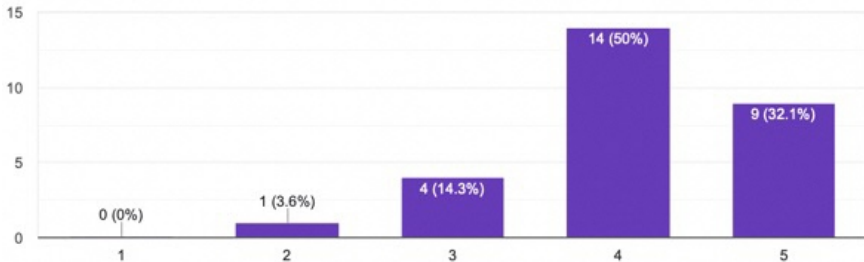
# 事前・第1回・第2回終了時アンケートの単純比較13

## (6) 住宅での太陽光発電の導入

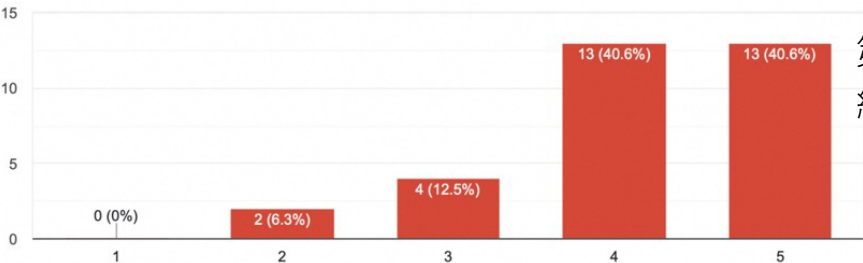
事前



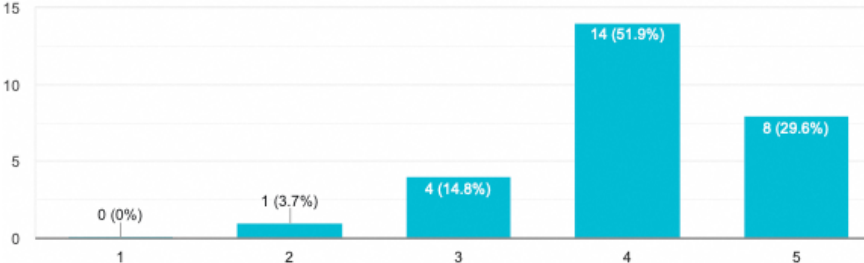
第2回  
終了時



第1回  
終了時



第3回  
終了時



全く重要  
ではない

非常に重  
要である

全く重要  
ではない

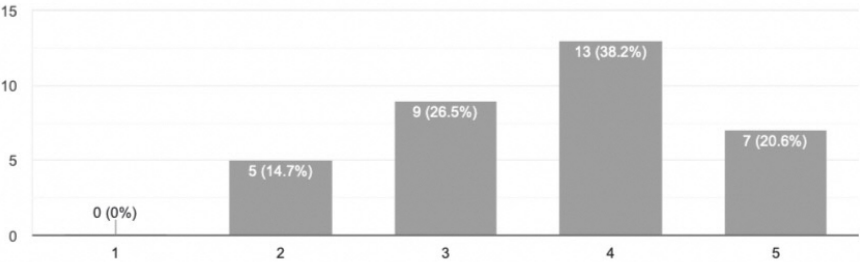
非常に重  
要である

重要側4に集まっているか

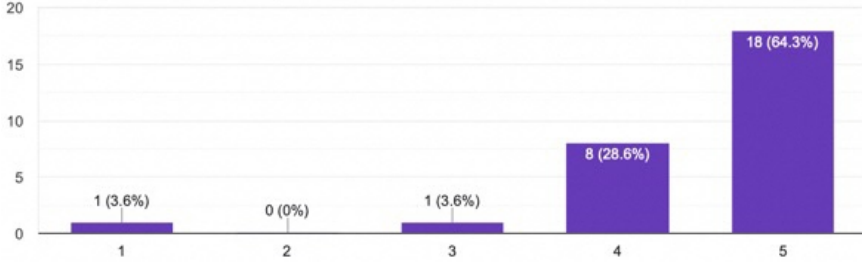
# 事前・第1回・第2回終了時アンケートの単純比較16

## (9) オフィスや店舗での断熱改修

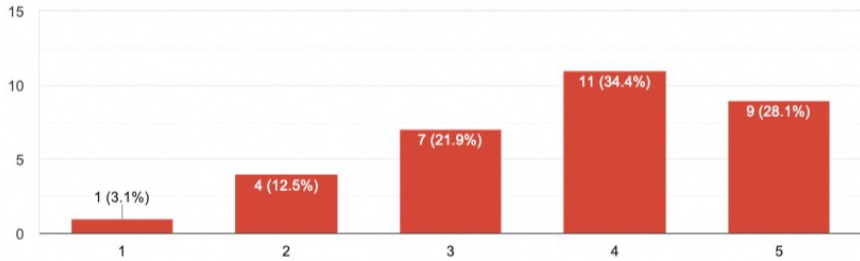
事前



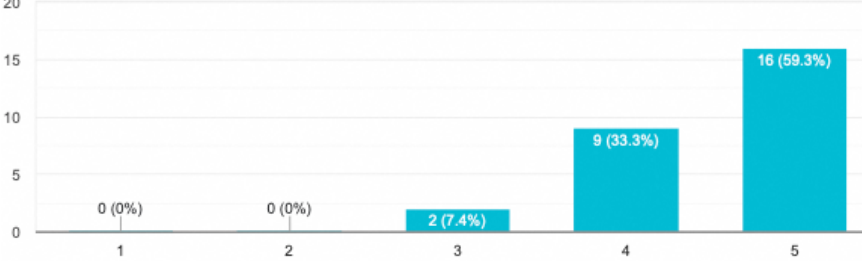
第2回  
終了時



第1回  
終了時



第3回  
終了時



全く重要  
ではない

非常に重  
要である

全く重要  
ではない

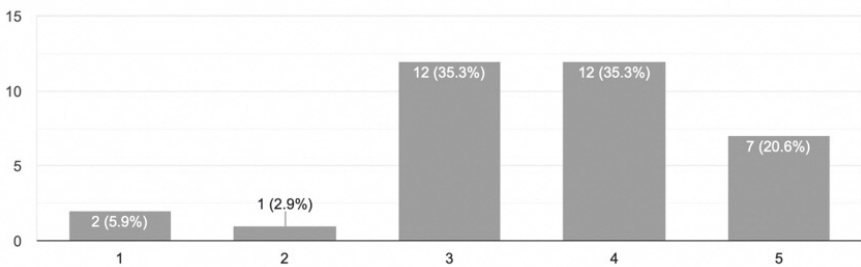
非常に重  
要である

重要側に寄っている

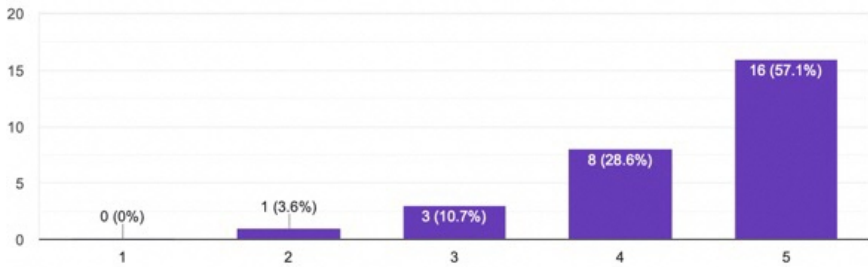
# 事前・第1回・第2回終了時アンケートの単純比較17

## (10) オフィスや店舗での太陽光発電の導入

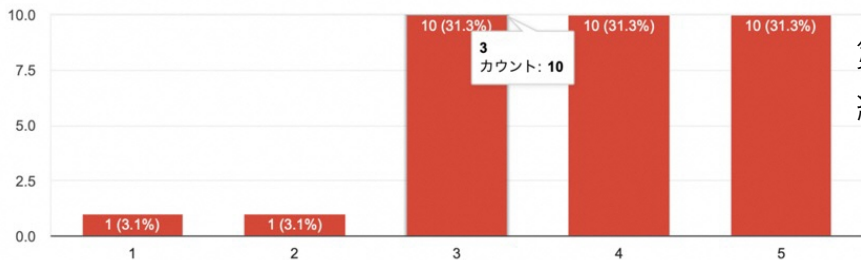
事前



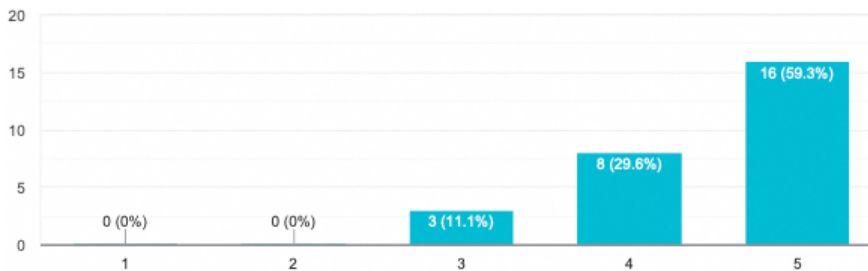
第2回  
終了時



第1回  
終了時



第3回  
終了時



全く重要  
ではない

非常に重  
要である

全く重要  
ではない

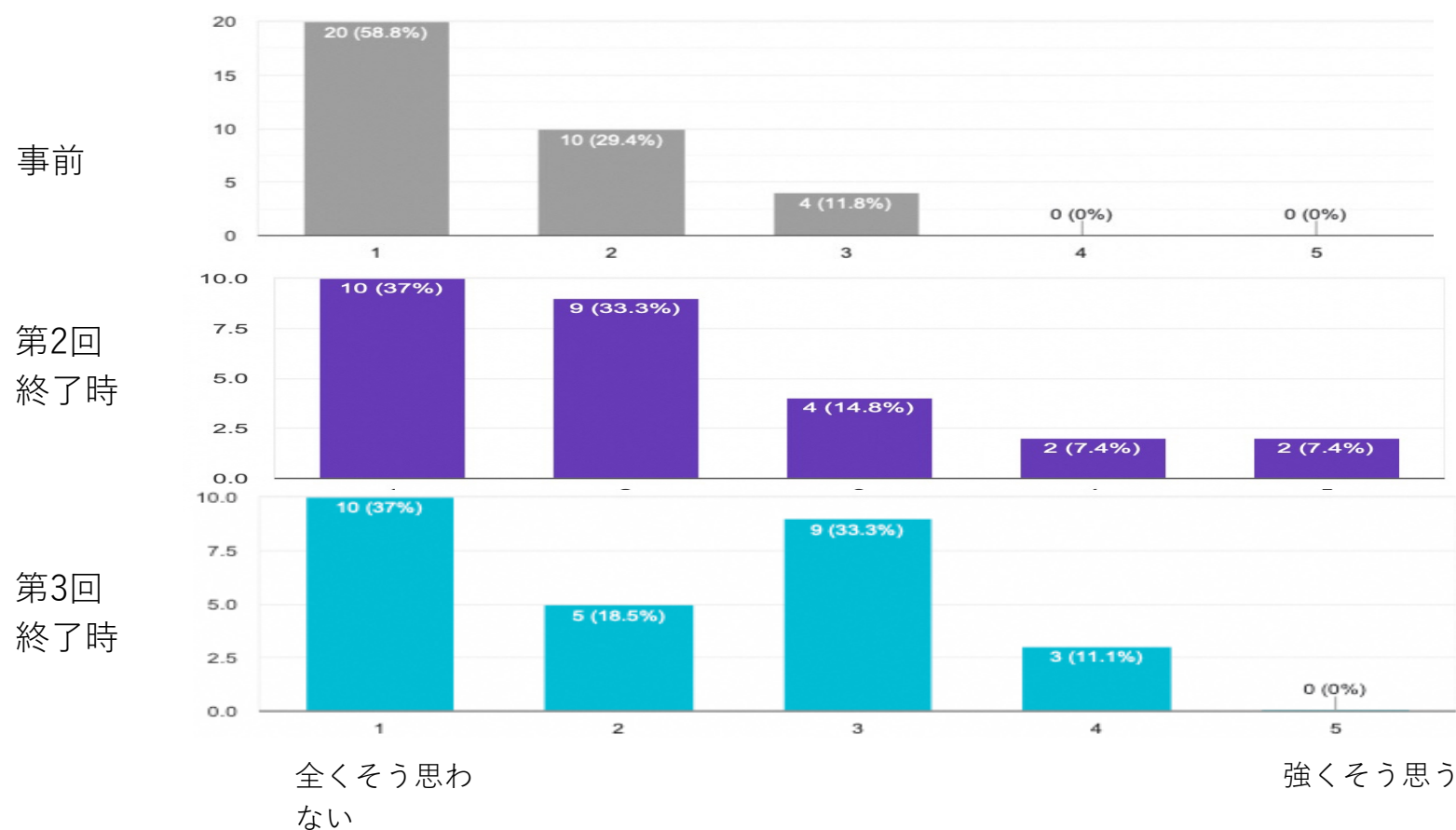
非常に重  
要である

重要側に寄っている

## 事前アンケートと第2回・第3回のトレードオフ項目1

多摩市の脱炭素実現に向けた次の(1)～(3)のような意見に対して、あなた自身の感じ方に近いものを、5段階の中から、ひとつ選んでください。

(1) 市内の里山や雑木林を減らしてでも、太陽光発電を大幅に増やすのがよい

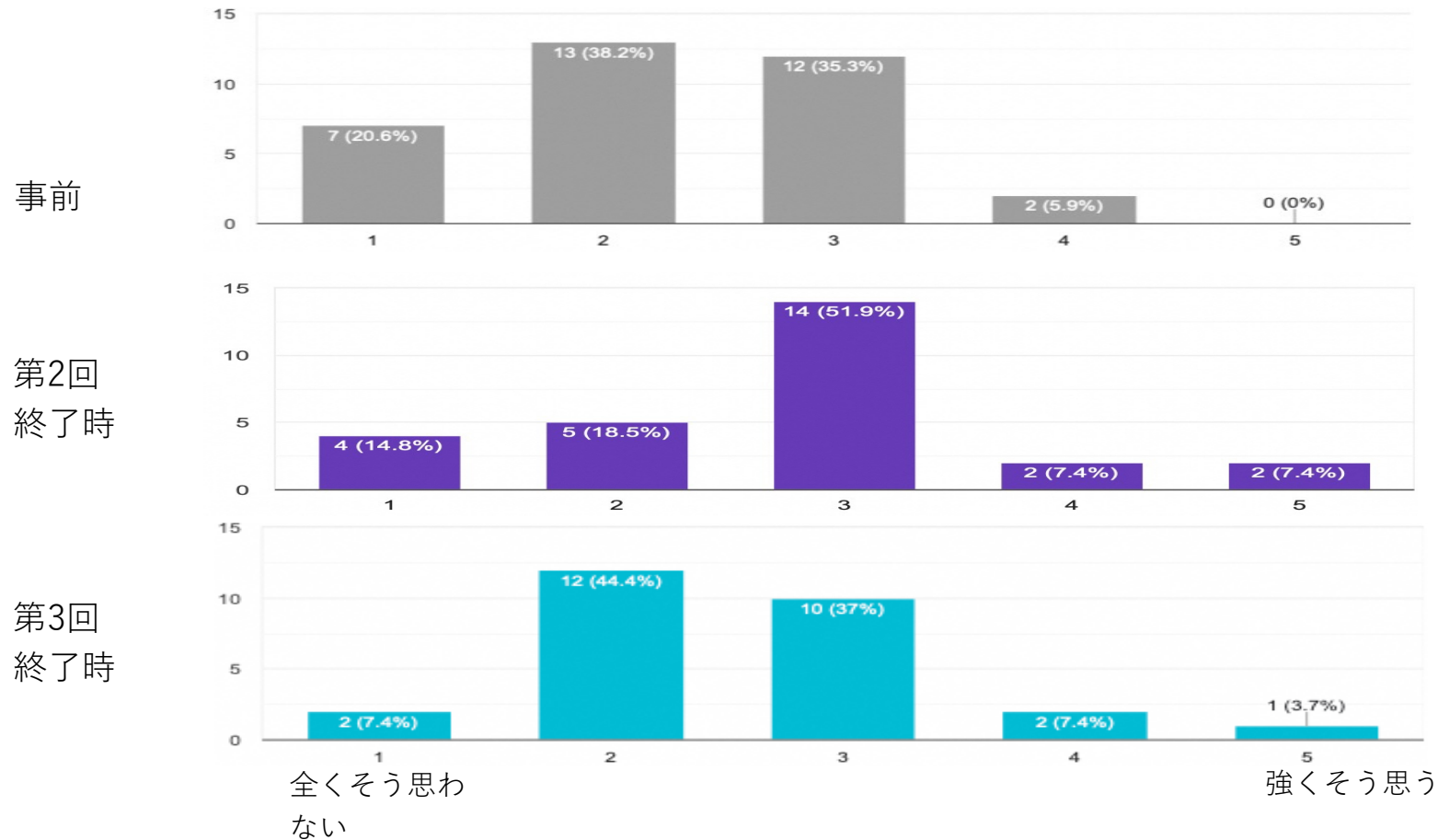


ポテンシャルの小ささが意識され、野立て太陽光も必要と考えたか

# 事前アンケートと第2回・第3回のトレードオフ項目2

多摩市の脱炭素実現に向けた次の(1)～(3)のような意見に対して、あなた自身の感じ方に近いものを、5段階の中から、ひとつ選んでください。

(2)再生可能エネルギーの電気は地域外から買ってくるのがよい

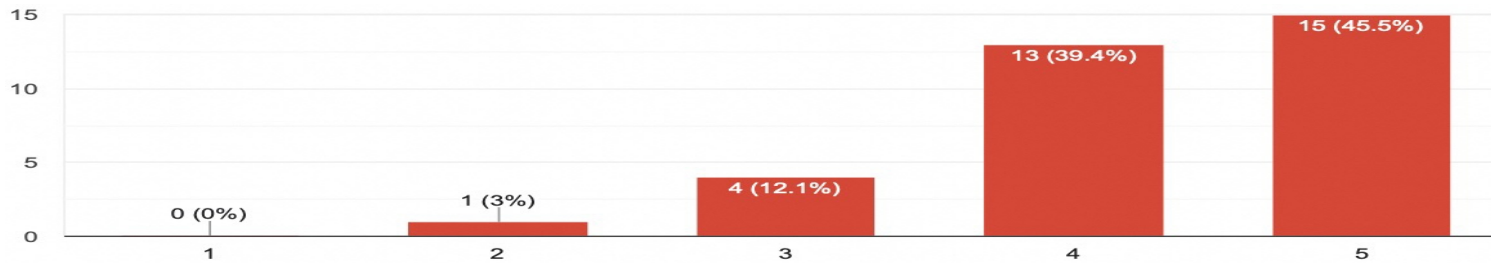


ポテンシャルの小ささが意識され、悩んでいるところか

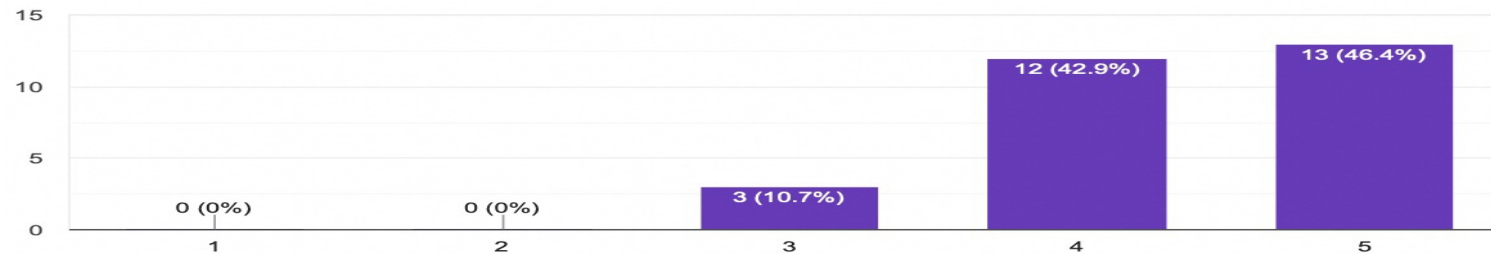
# 第1回～第3回終了時アンケートの単純比較1

今回の会議について、全体としてどのように評価しますか？

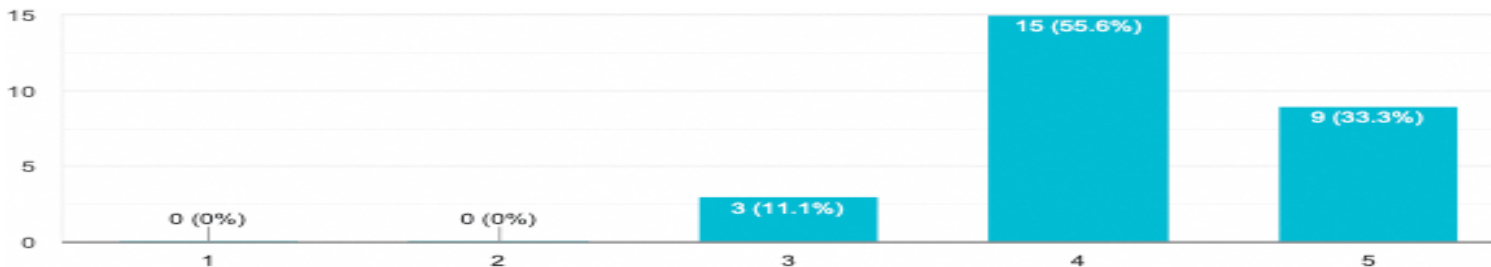
第1回  
終了時



第2回  
終了時



第3回  
終了時



非常に  
悪い

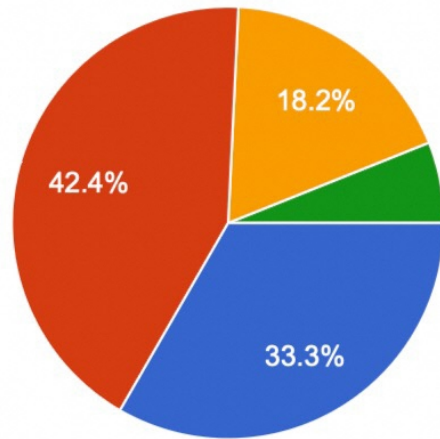
非常に  
良い

議論が続き、少し疲れが見えるか？

# 第1回～第3回終了時アンケートの単純比較3

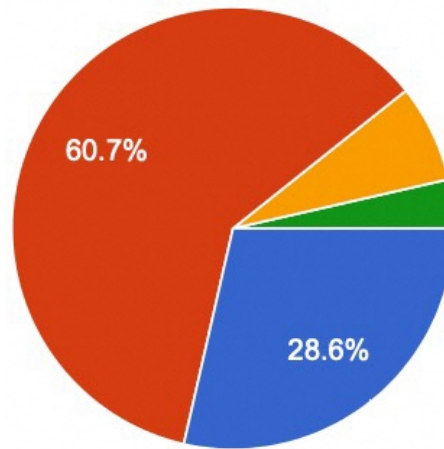
(2) 情報提供ではメリット・デメリットがバランスよく取り上げられていた

第1回終了時



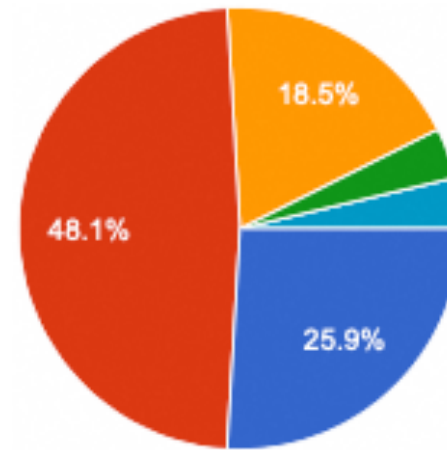
- 非常にそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- そうは思わない
- 全くそうは思わない
- わからない

第2回終了時



4.7ポイント▲  
18.3ポイント増  
11.1ポイント▲  
2.5ポイント▲

第3回終了時



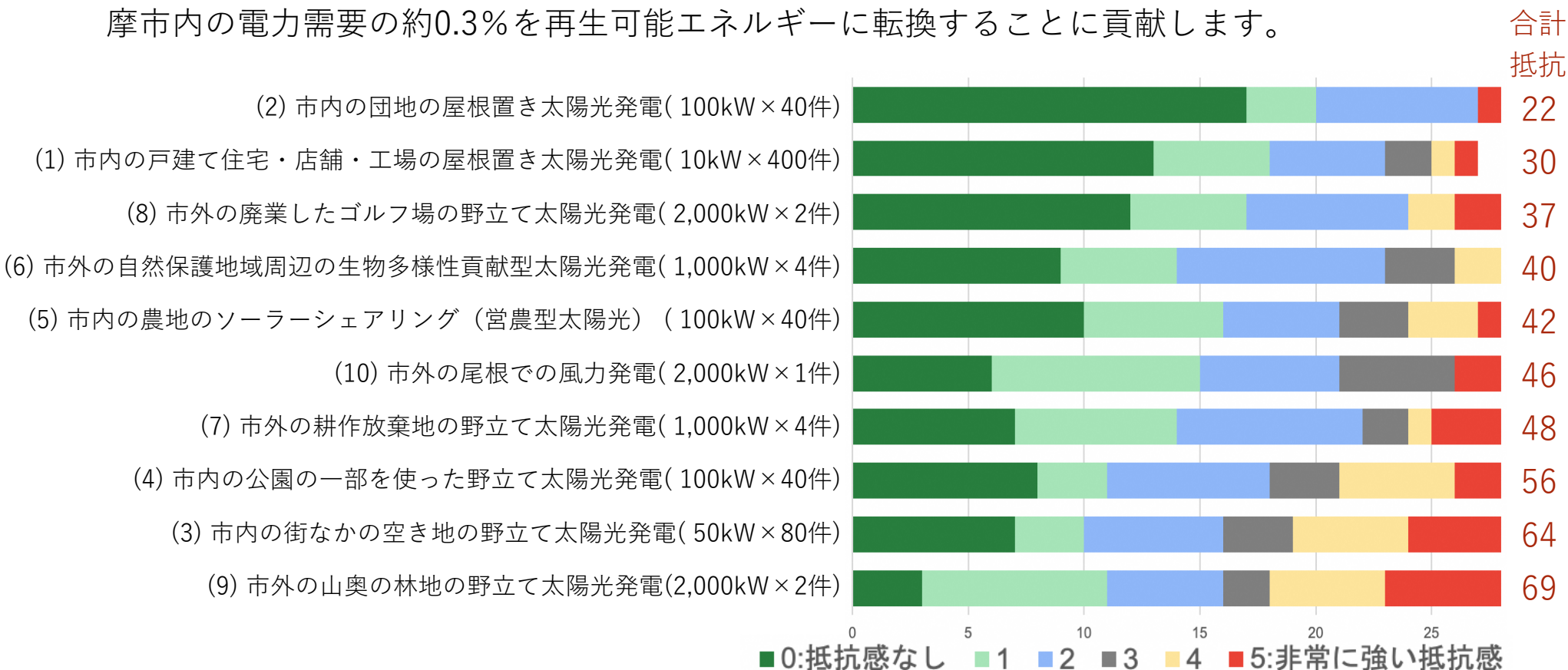
2.7ポイント▲  
12.6ポイント▲  
11.4ポイント増  
1.2ポイント増

事例を詰めこみ、デメリット情報が少なかったか



### 第3回 様々な再エネへの抵抗感

Q9. 多摩市の脱炭素実現に向けて、(1)～(5)市内および(6)～(10)市外での再生可能エネルギーの電気を活用する計画に対して、あなた自身は「どの程度の抵抗感」を感じるか、6段階の中から、ひとつ選んでください。ただし、どの選択肢も発電量はほぼ同じとなり、現在の多摩市内の電力需要の約0.3%を再生可能エネルギーに転換することに貢献します。



市内では団地・住宅・店舗などの屋根、市外ではゴルフ場跡、生物多様性貢献型が抵抗感は低く、風力発電は中位、市内の公園や空き地は抵抗感高い



# 前回の 意見交換の ふりかえり

詳しくは、  
「開催レポート」を見てね



# 前回のワークショップで行ったこと

具体策

テーマ

## まちに必要な 機能やしくみを考えよう

進め方



グループに分かれて  
アイデア出し



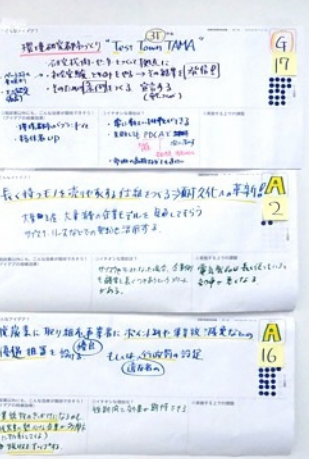
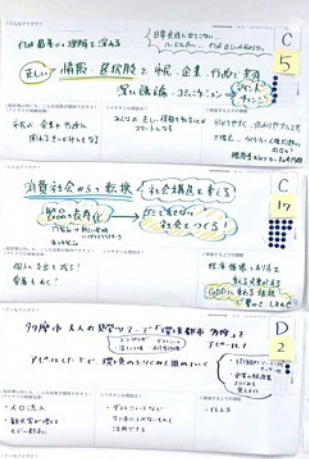
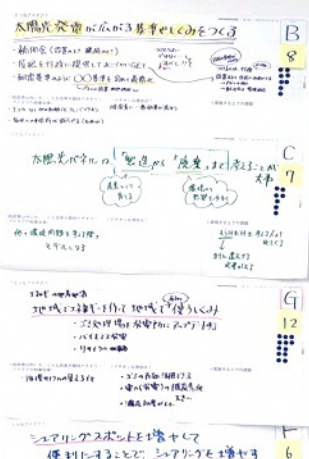
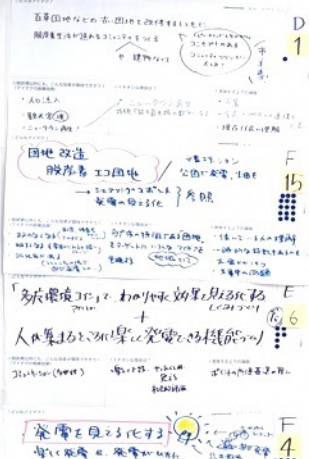
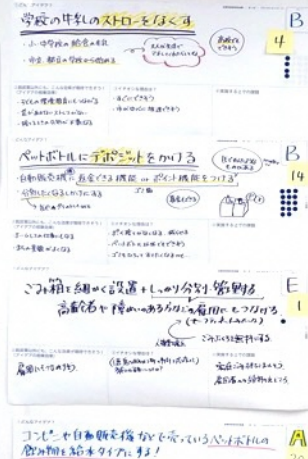
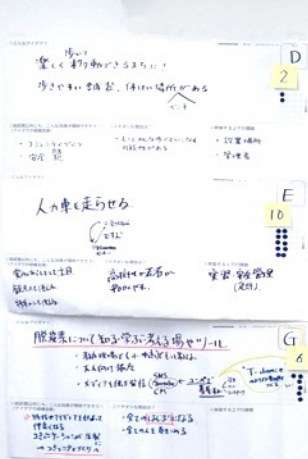
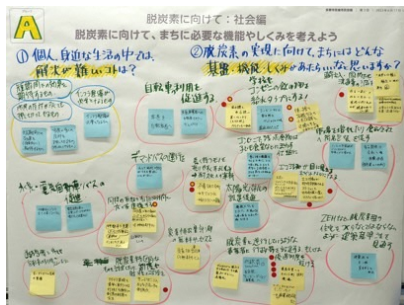
全体共有



全体シール投票



# グループの模造紙とイチオシアイデア



# アイデアはどうやって整理したの？

おさらい

第1回のご意見をまとめた「テーマ」と「30年後の多摩市の環境・社会のイメージ」をもとに整理しました

豊かさ

食・消費

ごみ・資源循環  
(追加)

住まい・  
暮らし・健康

みどり・自然・  
生態系

エネルギー

移動

イノベーション・  
新技術・研究  
(旧協働・連携)

学び・  
情報発信

選ばれるまち・  
ブランディング

# 食・消費

30年後のイメージ	アイデア
リデュース・ リユース・ リサイクル、 シェアが進んだ、 ごみや無駄な ロスがないまち	<ul style="list-style-type: none"><li>●製品の長寿化などにより、消費社会からの転換を図る（GDPに変わる新しい指標）</li><li>●長く持つモノを売りやすくする仕組みをつくり、耐久化への革新につなげる</li></ul>

# ごみ・資源循環

30年後のイメージ	アイデア
リデュース・ リユース・ リサイクル、 シェアが進んだ、 ごみや無駄な ロスがないまち	<ul style="list-style-type: none"><li>●ごみ箱を広くまちなかに設置して、しっかり分別と管理をすることで、回収したごみを効率的にエネルギーに変換する</li><li>●コンビニや自動販売機などで売っているペットボトルの飲み物を給水タイプにする</li><li>●学校の牛乳のストローをなくす</li><li>●ペットボトル飲料はデポジット方式にする</li></ul>

# 住まい・暮らし・健康

30年後のイメージ	アイデア
<p>環境と経済に 優しい住まいに 暮らせるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●市が主導して百草団地などの古い団地を改修するなどし、脱炭素生活を送ることができるコミュニティや建物などをつくる</li><li>●団地改造によって脱炭素・エコ団地に</li></ul>

# エネルギー

30年後のイメージ	アイデア
脱炭素な エネルギーに 転換している まち	<ul style="list-style-type: none"><li>●太陽光発電は、パネルの製造から廃棄まで考えて広めていこう</li><li>●太陽光発電が広がる基準や仕組みをつくる</li></ul>
脱炭素な エネルギーを 発電している まち	<ul style="list-style-type: none"><li>●地域でエネルギーをつくって、地域で有効に使う仕組み</li><li>●人が集まるところに楽しく発電できる機能づくりと「多摩環境コイン」で分かりやすく効果を見える化する仕組みづくりを一緒に行う</li><li>●発電を見える化する</li></ul>



# 移動

30年後のイメージ	アイデア
歩き・自転車で暮らしやすい、コンパクトなまち	<ul style="list-style-type: none"><li>●楽しく歩いて移動できるまちに！</li><li>●自転車等のシェアリングスポットを増やして便利にすることでシェアリングを増やす</li></ul>
CO2を排出しない手段で移動している	<ul style="list-style-type: none"><li>●人力車を走らせる</li></ul>

# 学び・情報発信

30年後のイメージ	アイデア
一人ひとりが 気候変動対策を 自分ごととして 捉えている	●正しい情報・選択肢を市民、企業、行政で共有することからはじめる
環境や気候変動 について学び、 情報発信を 積極的に行って いる	●脱炭素について知る・学ぶ・考える場やツール ●多摩市大人の見学ツアーで「環境都市 多摩」をアピールする

# イノベーション・新技術・研究

30年後のイメージ	アイデア
企業や大学等との連携を活かして、気候変動対策を加速させている	<ul style="list-style-type: none"><li>●環境研究都市づくり“Test Town TAMA”</li><li>●「炭素税」のように、CO2排出量を商品価値と連動させる</li><li>●脱炭素に取り組む優良事業者に、ポイント制や法人市民税減免などの優遇措置を設けるか、違反者に対する行政罰を設定する</li></ul>

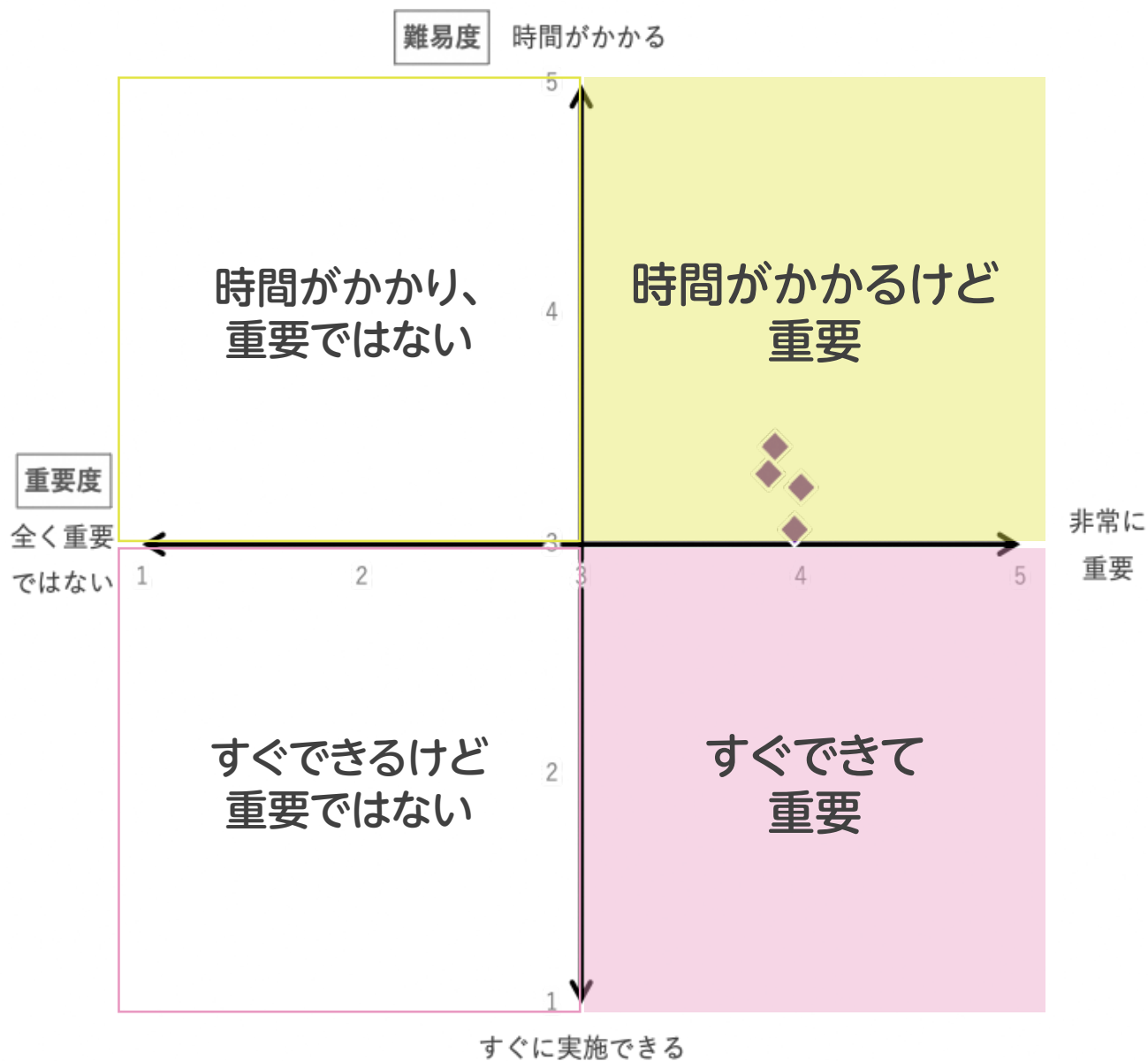
第2回・第3回の  
具体策の

# 取組提案の 評価結果

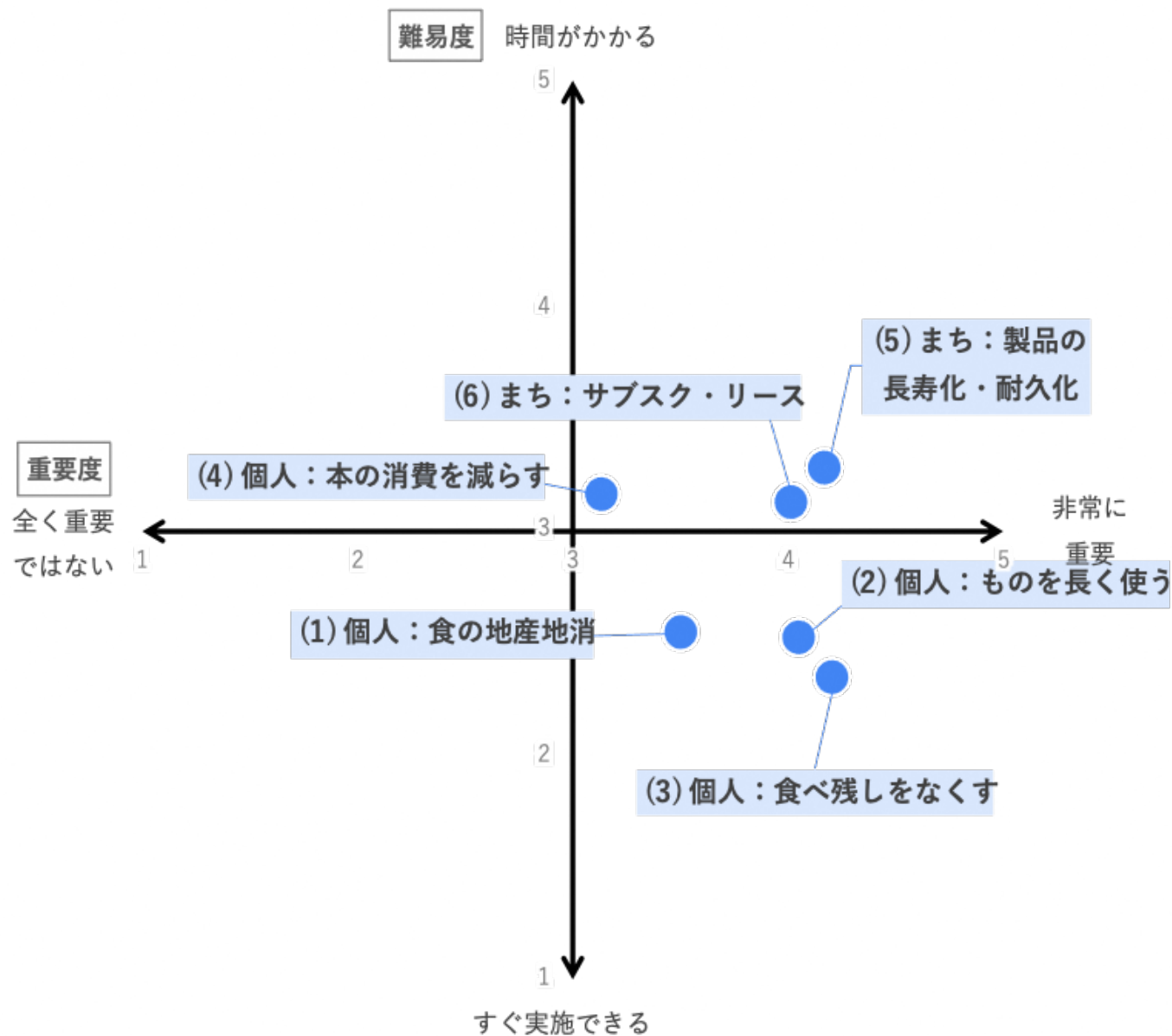
# 評価アンケートの実施概要

目 的	脱炭素に向けて、多摩市ではどのような将来像を描き、どのような具体策を実施していくべきかをまとめていくために実施。
回 答 期 間	2023年6月23日(金)～7月1日(土)(9日間)
対 象	多摩市気候市民会議 参加者
回答数	33件
形 式	オンライン(一部手書き記入)
内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>第2回・第3回でまとめた「具体策」のアイデアについて、それぞれの<u>重要度</u>や<u>難易度</u>について評価</li><li>関心のあるテーマの選択(グループ分け用)</li></ul>

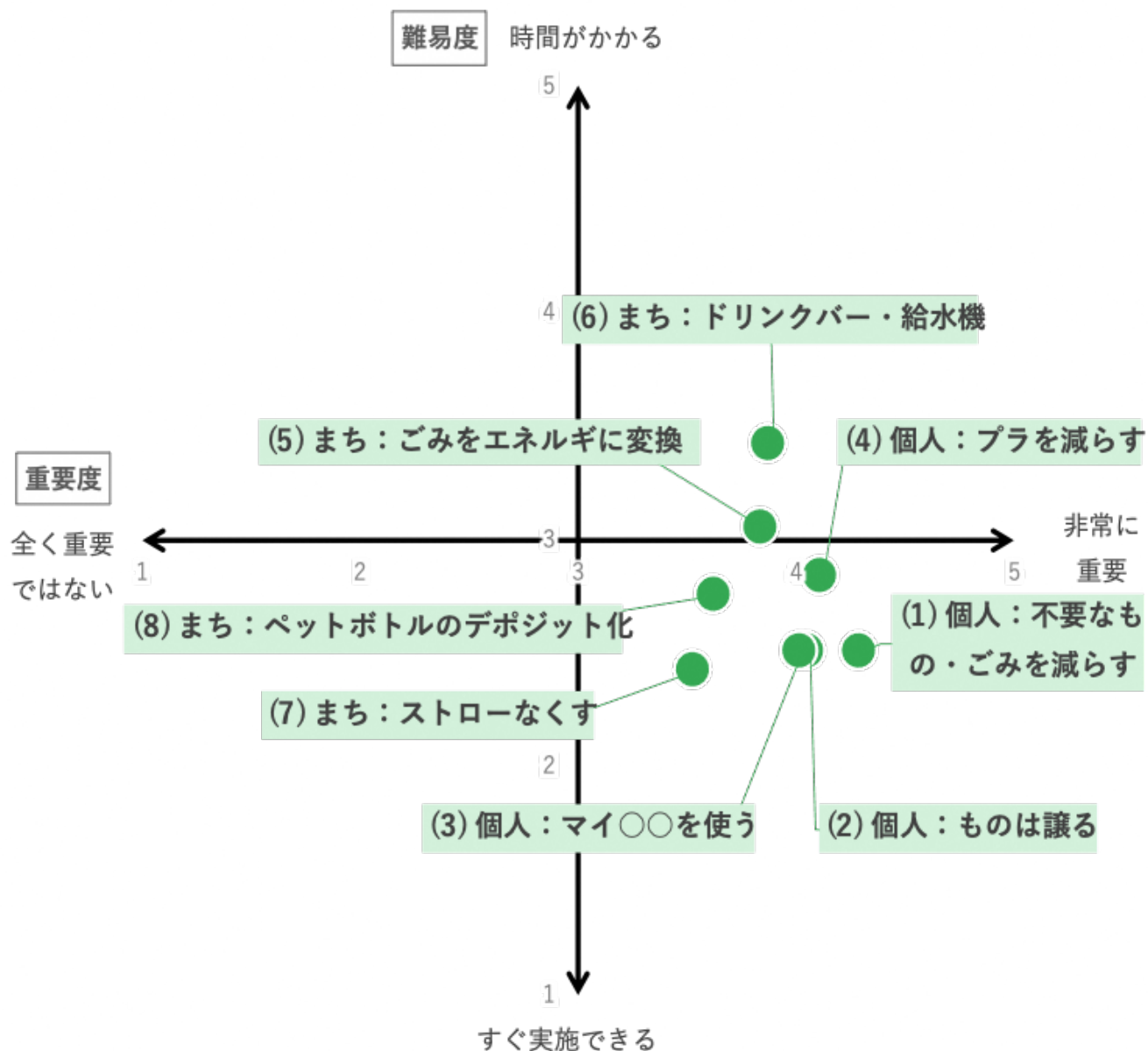
# グラフの読み方



# 食・消費

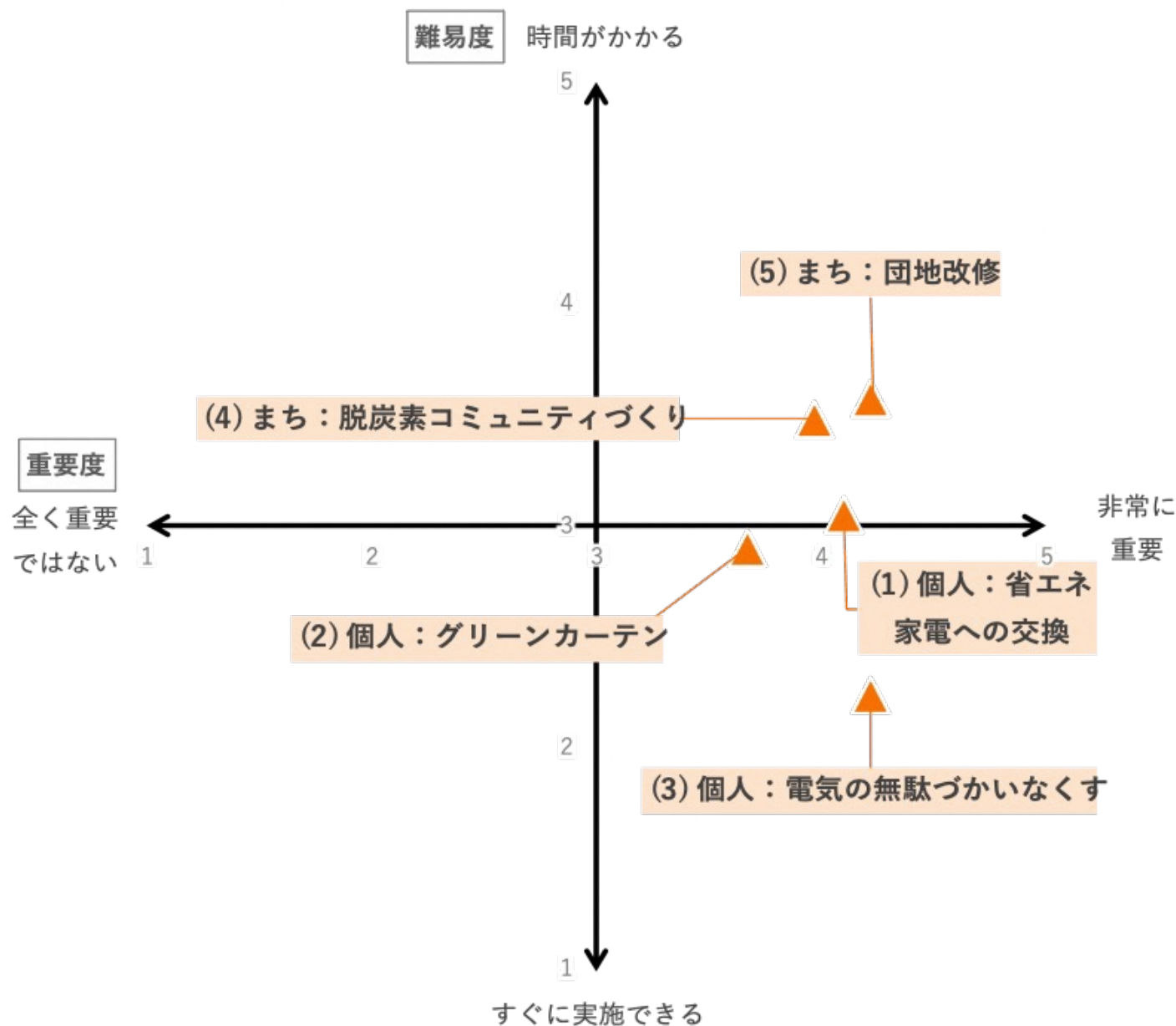


# ごみ・資源循環

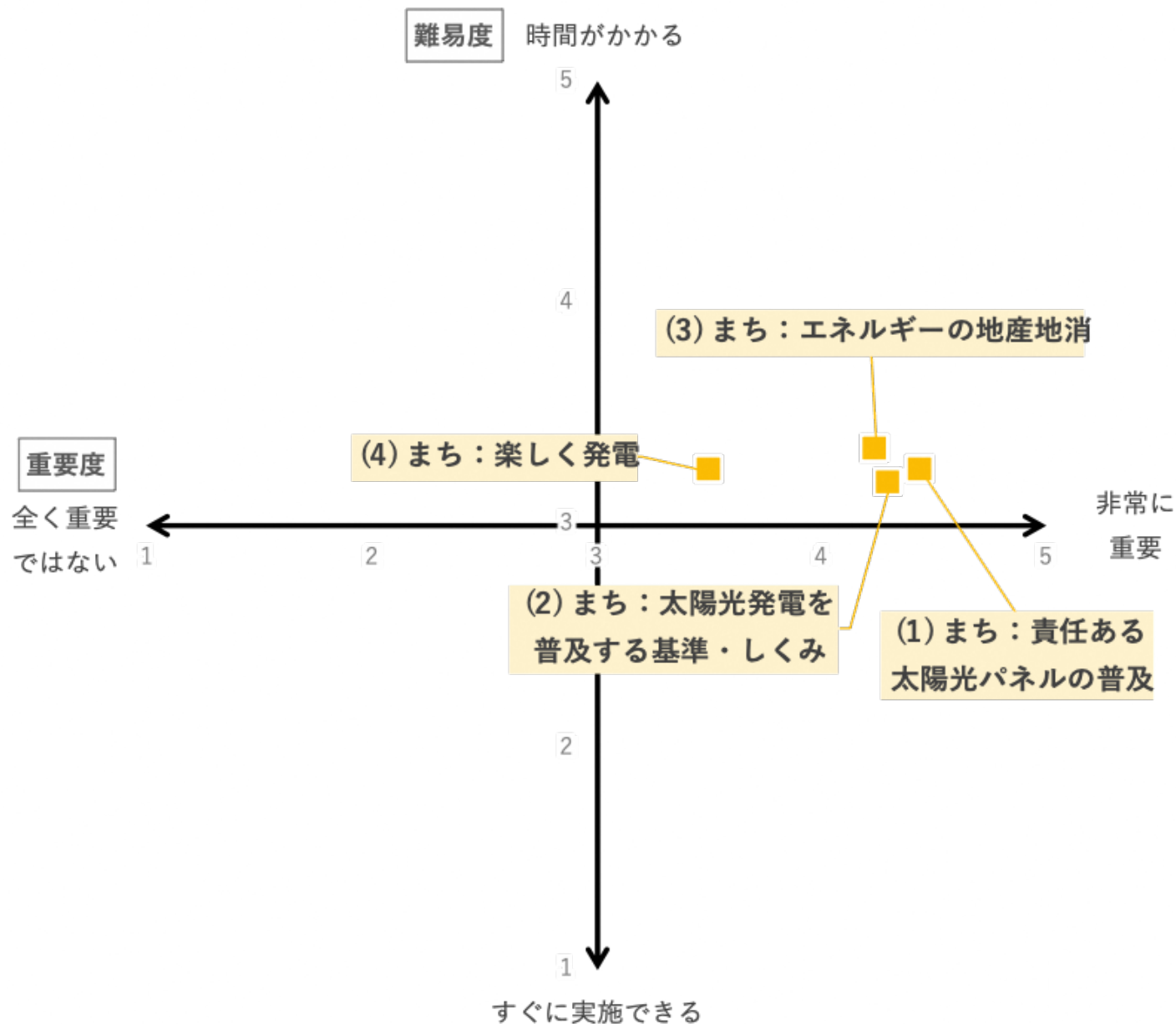




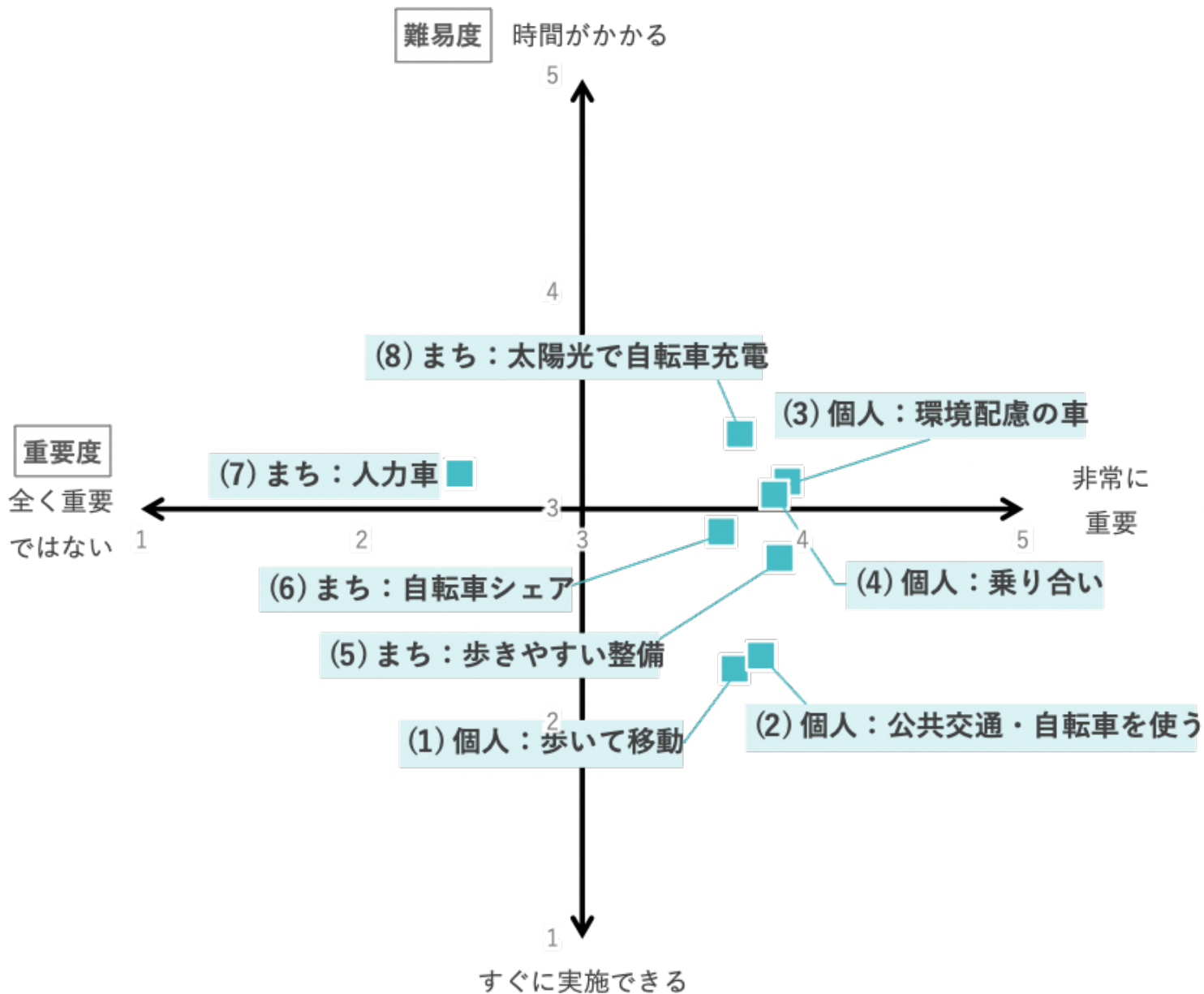
# 住まい・暮らし・健康



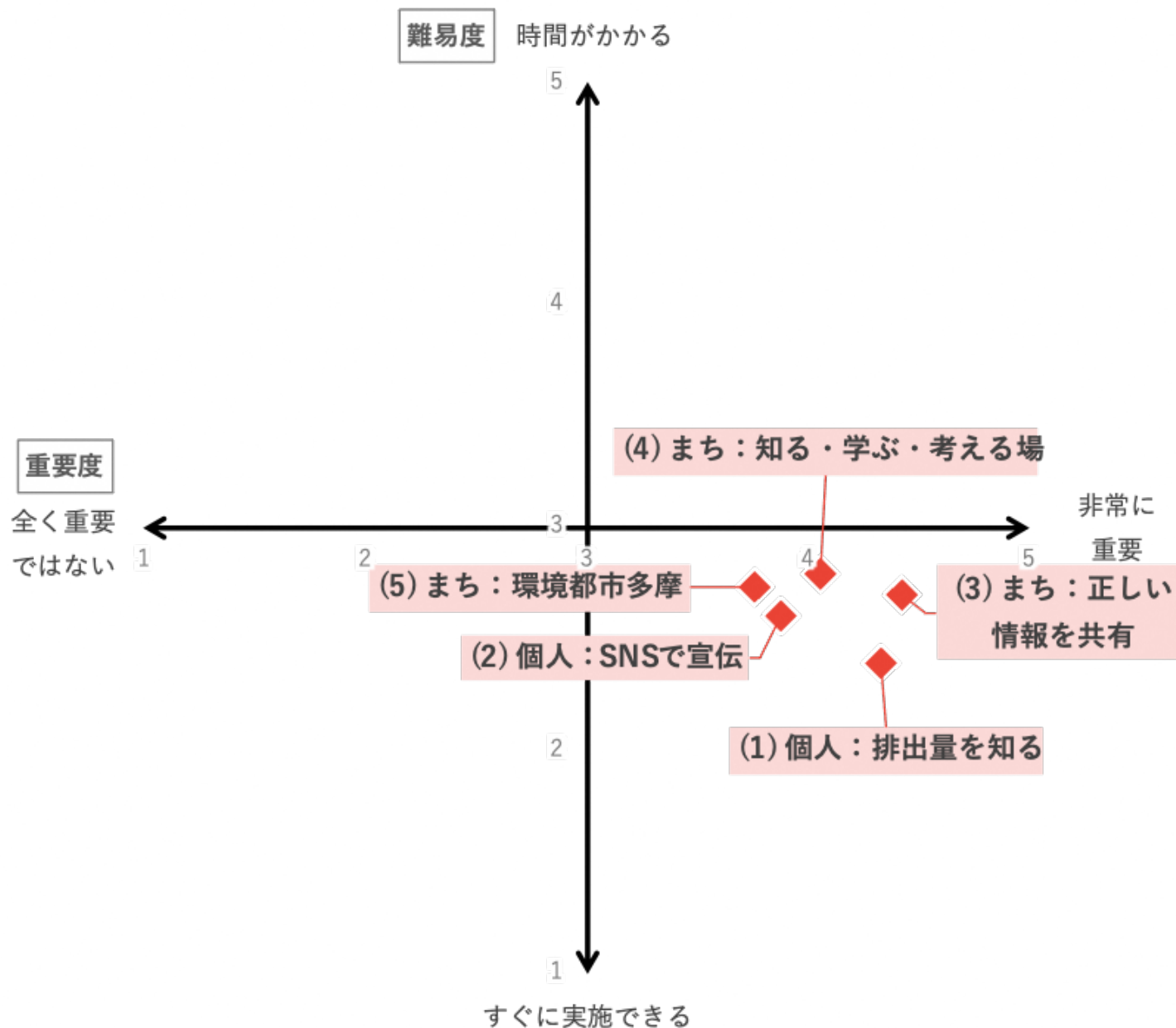
# エネルギー

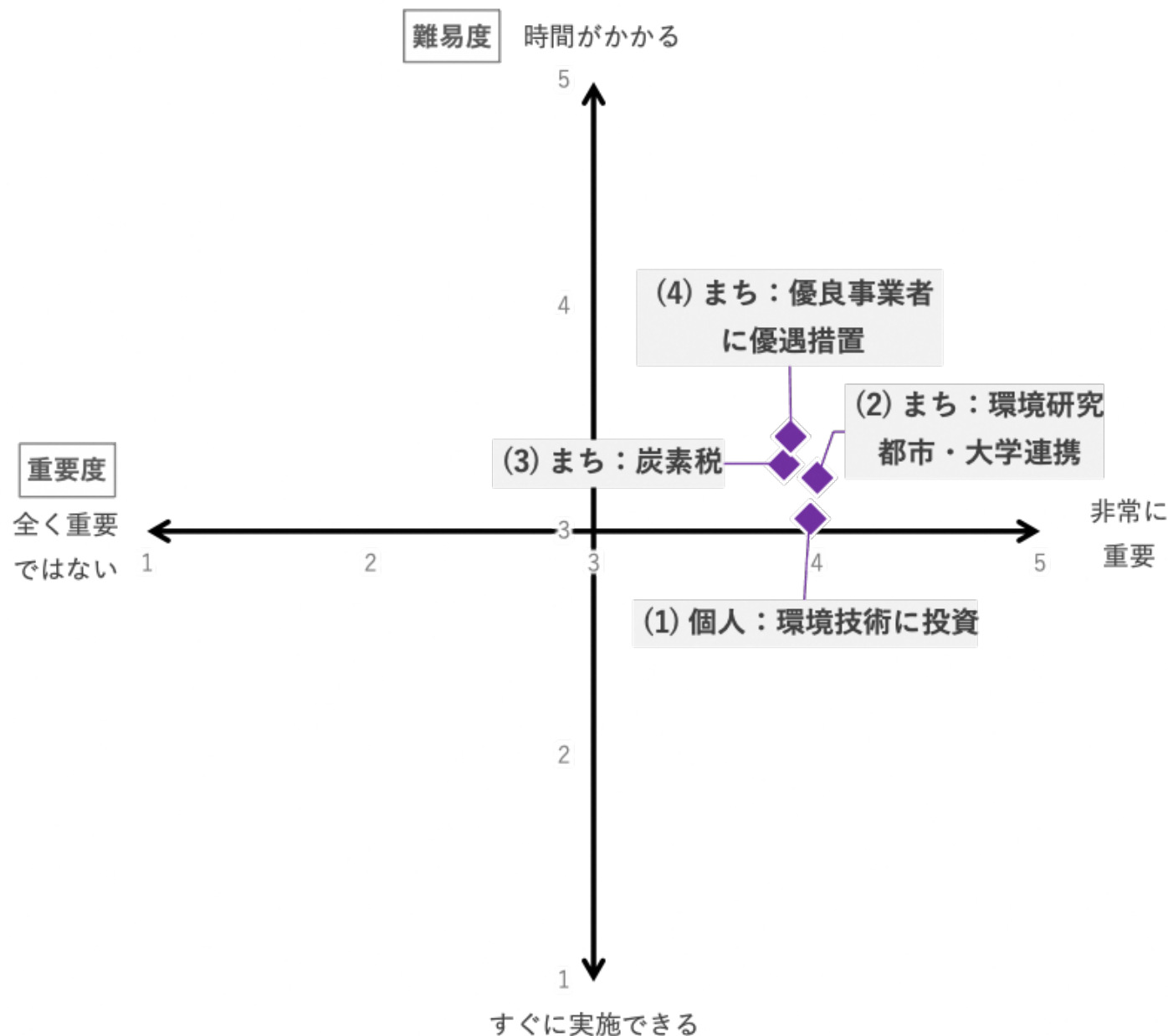


# 移動

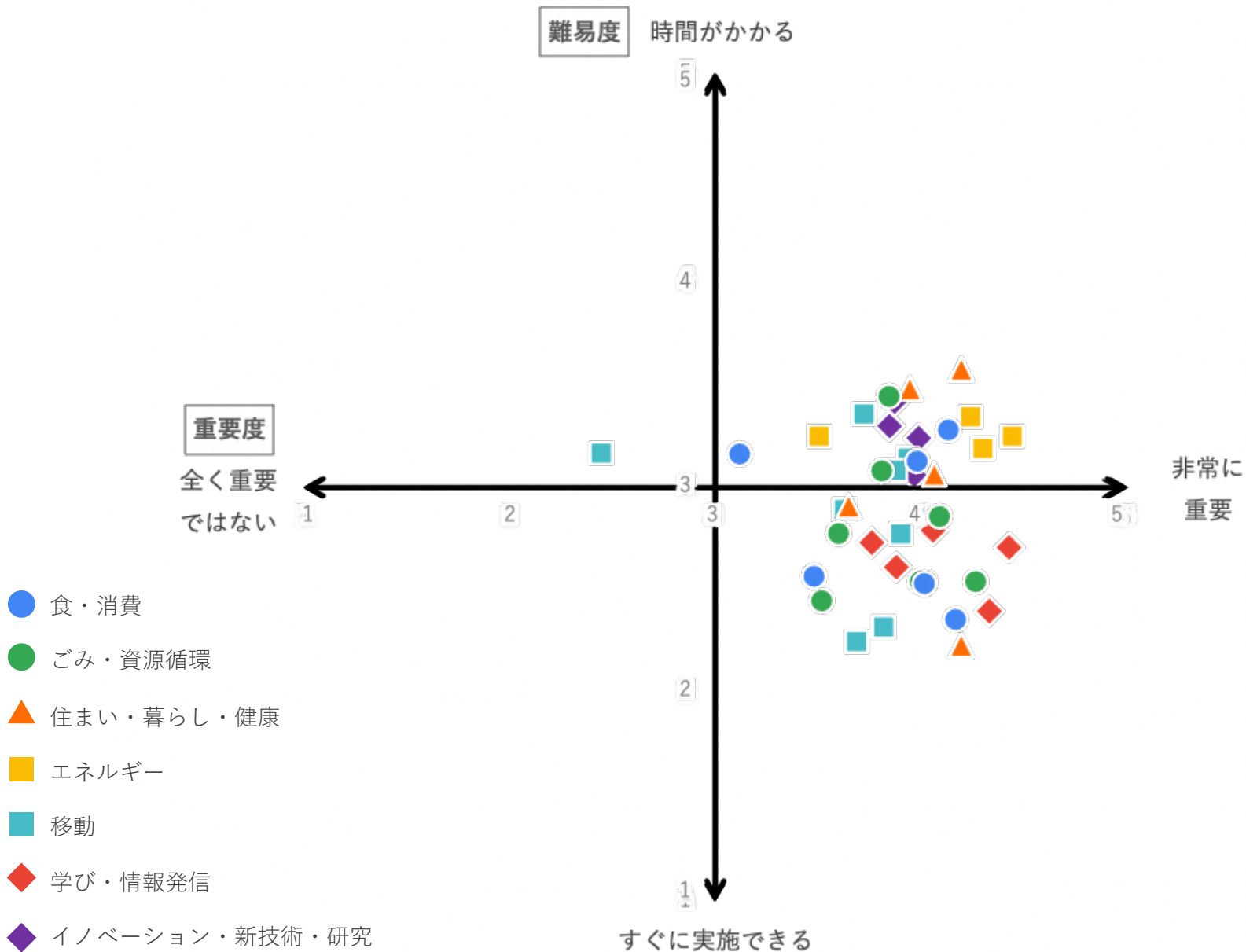


# 学び・情報発信

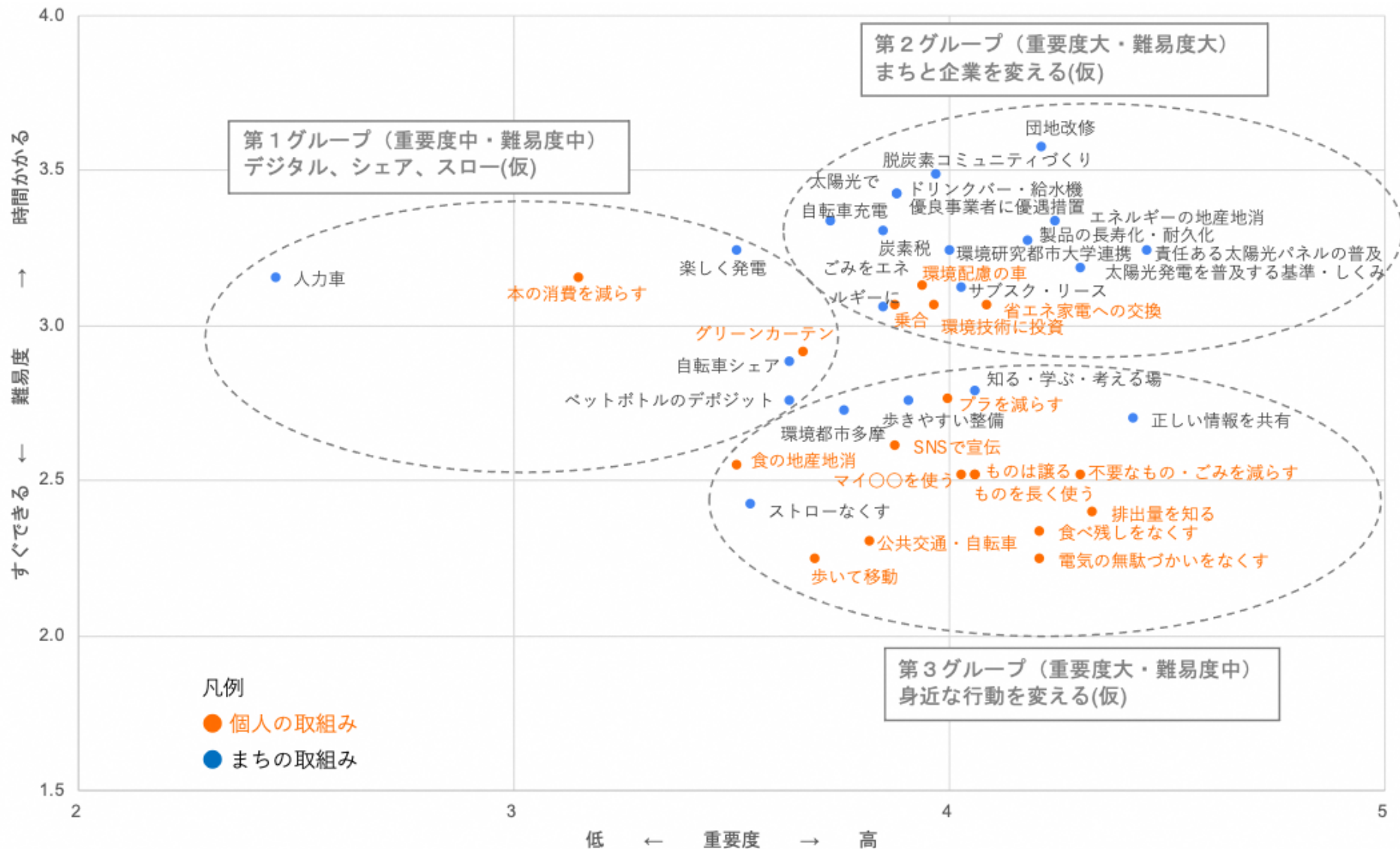




## 全取組提案の重要度と難易度



# 確定案の重要度・難易度の整理



# まとめ

## 分布について

- 平均値のため、中央に寄っているが、個別の回答では「1」や「5」などの評価もあった
- 「個人の取組」と「まちの機能」は評価が寄っている傾向


## 重要度について

- 重要度は1つの項目を除く全取組が「3」以上
- 「エネルギー」や「学び・情報発信」が重要度が高い評価

## 難易度について


- 「個人の取組」は「すぐできる」、  
「まちの機能」は「時間がかかる」と評価された傾向
- 一方で、「まちの機能」が「すぐにできる」と評価された取組もあった



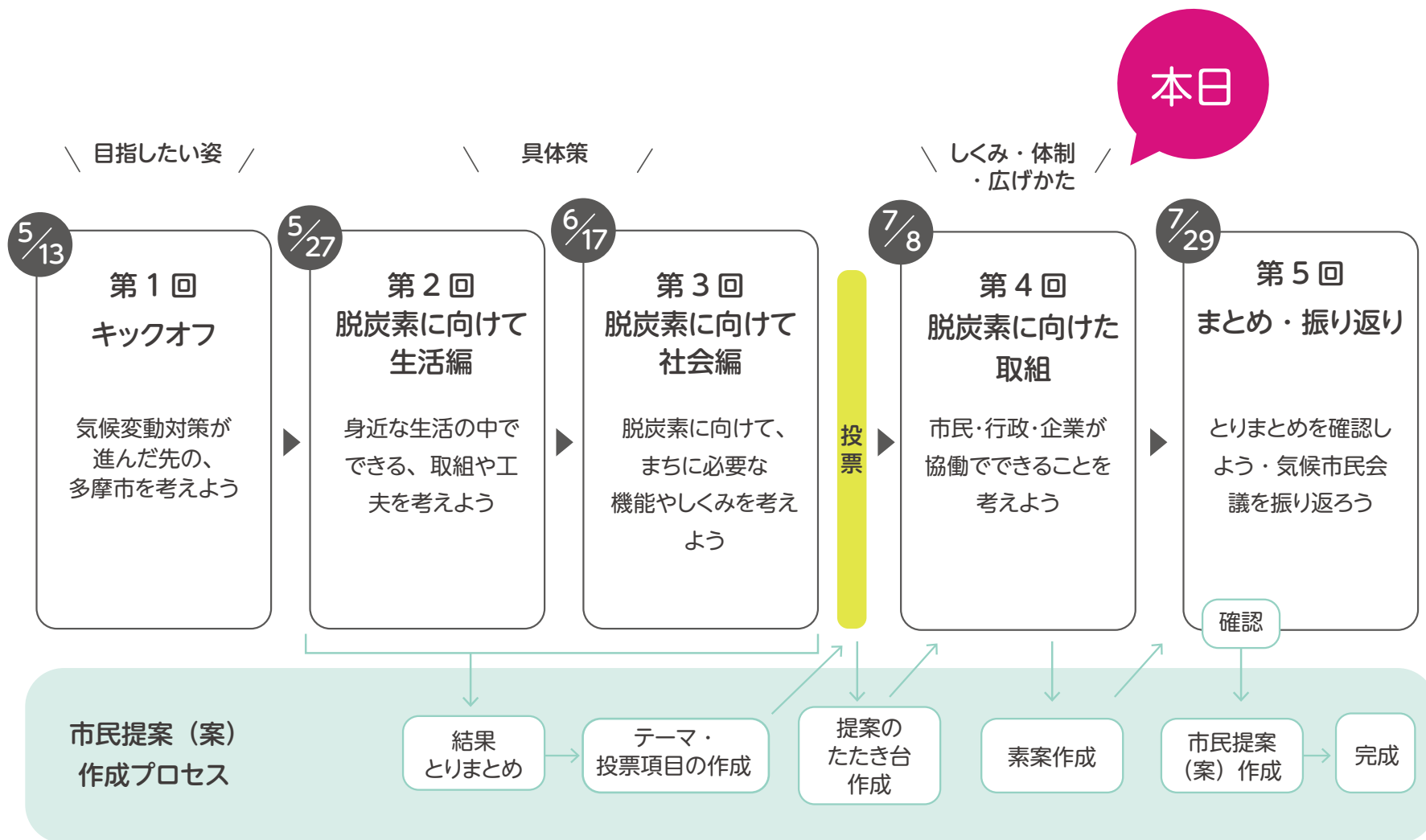


# 市民提案の とりまとめ方

これまでの議論をどのように「市民提案」として  
とりまとめしていくかをご紹介します




# とりまとめのプロセス



# 市民提案の構成(案)

<体裁>  
A4タテ  
24ページ

<資料編>  
各回の開催  
レポート

裏表紙	表紙	7	ごみ・資源循環	8	15	学び・ 情報発信	16	
1	はじめに  多摩市気候市民会議 について  市民提案について	2	9	住まい・ 暮らし・健康	10	17	イノベーション等	18
3	30年後の実現したい 環境・社会のイメージ	4	11	エネルギー	12	19	取組提案のグラフ(投票結果) 重要度×難易度  	20
5	食・消費  30年後に実施したい 環境・社会のイメージ  ・取組提案(個人&まち)	6	13	移動	14	21	市民提案の とりまとめ プロセス	22

# テーマごとの提言イメージ

## テーマ

### テーマごとの提言

何から始めるか／目指すゴール／進める上で大切にしたいことなど

### 30年後（2050年）に向けたロードマップ

現在～2025年  
（数年以内）

2030年

2050年



### 協働の体制とそれぞれの役割

市民・地域団体

行政

企業

30年後の環境・社会のイメージ

### 取組提案

（個人でできる取組・工夫やまちに必要な機能・しくみ）

30年後の環境・社会のイメージ

### 取組提案

（個人でできる取組・工夫やまちに必要な機能・しくみ）

# テーマごとの提言イメージ（具体例）

テーマ

## 食・消費

### テーマごとの提言

何から始めるか／目指すゴール／進める上で大切にしたいことなど

### 30年後（2050年）に向けたロードマップ

現在～2025年  
（数年以内）

2030年

2050年

### 協働の体制とそれぞれの役割

市民・地域団体

行政

企業

### 食やエネルギーの自給率が高いまち

#### 取組提案

- ① 地元のお店で地域の野菜や食品を買う・  
地産地消を実現する

### リデュース・リユース・リサイクル、シェアが進んだ、 ごみや無駄なロスがないまち

#### 取組提案

- |                                |                                                   |
|--------------------------------|---------------------------------------------------|
| ① 環境に配慮したものや、愛着の湧く良いものを選び、長く使う | ⑤ 製品の長寿化・耐久化により、大量生産・大量消費社会からの転換を図る（GDPに変わる新しい指標） |
| ② 食べきれる量を調理し、食べ残しを無くす          | ⑥ サブスクリプションやリースなど、消費型の企業モデルを見直す                   |
| ③ 電子媒体（デジタル）を使うことで、本などの消費を減らす  |                                                   |



情報提供

# 脱炭素に向けて 取組を実現させる ためには

金子 貴代 先生

再エネ100宣言 RE Action事務局  
ネットゼロリンク合同会社 代表





# —脱炭素に向けた取組— 市民・行政・企業が協働で できることを考えよう

ネットゼロリンク合同会社 代表

再エネ100宣言 RE Action 事務局 金子貴代



有名な標語  
THINK GLOBALLY, ACT LOCALLY.





# ACT LOCALLY

## 私たちに何ができるのか？

# 人感センサー付きLED電球

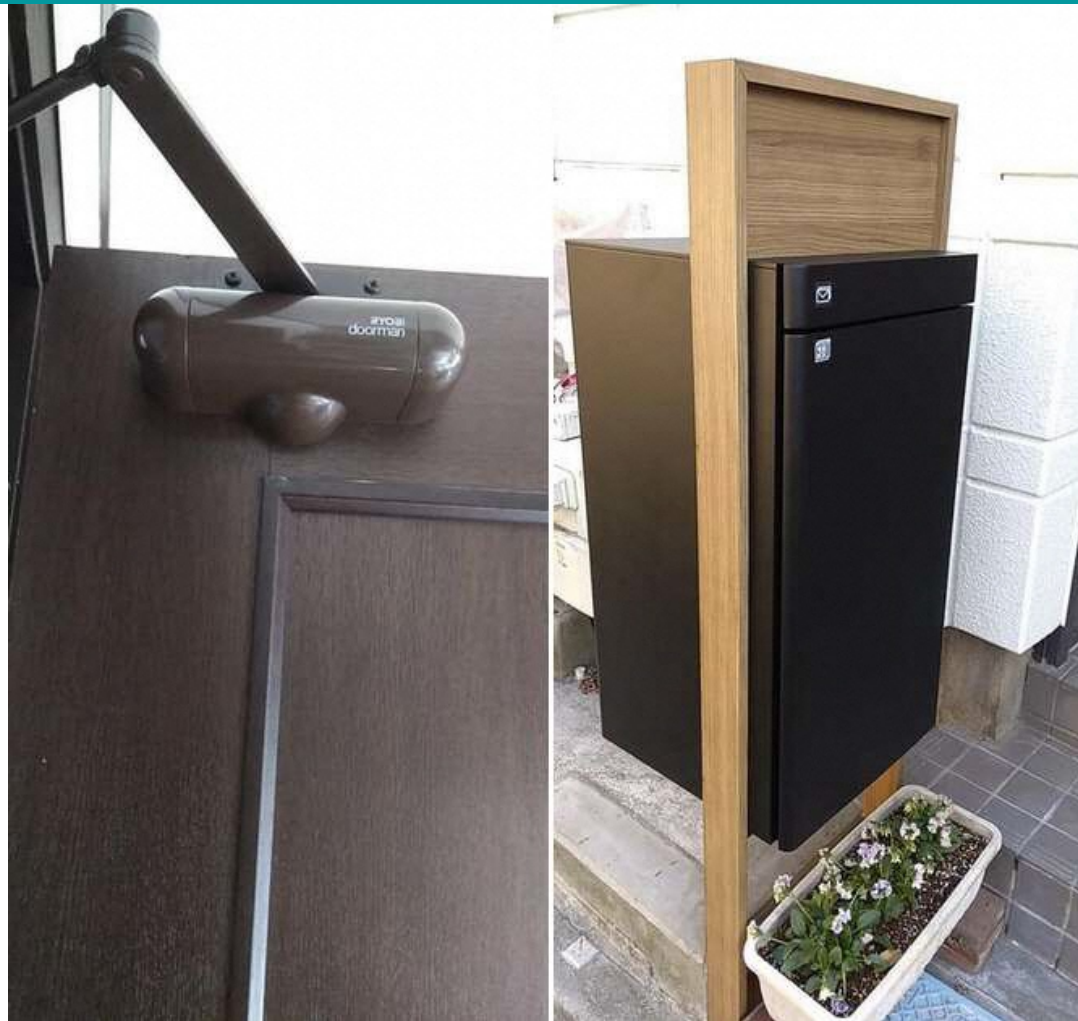
---

- ✓ センサーが人に反応し自動で電気をつけてくれる「人感センサー付きLED電球」
- ✓ 節電につながる商品
- ✓ 玄関、トイレ、廊下など



参考情報) マイナビおすすめナビ  
人感センサー付きLED電球のおすすめ7選 | プロの家電販売員が徹底解説【屋外やトイレ、玄関など】  
<https://osusume.mynavi.jp/articles/5503/>

# ドアクローザー & 宅配ボックス



# 太陽発電の導入（自宅の陸屋根）



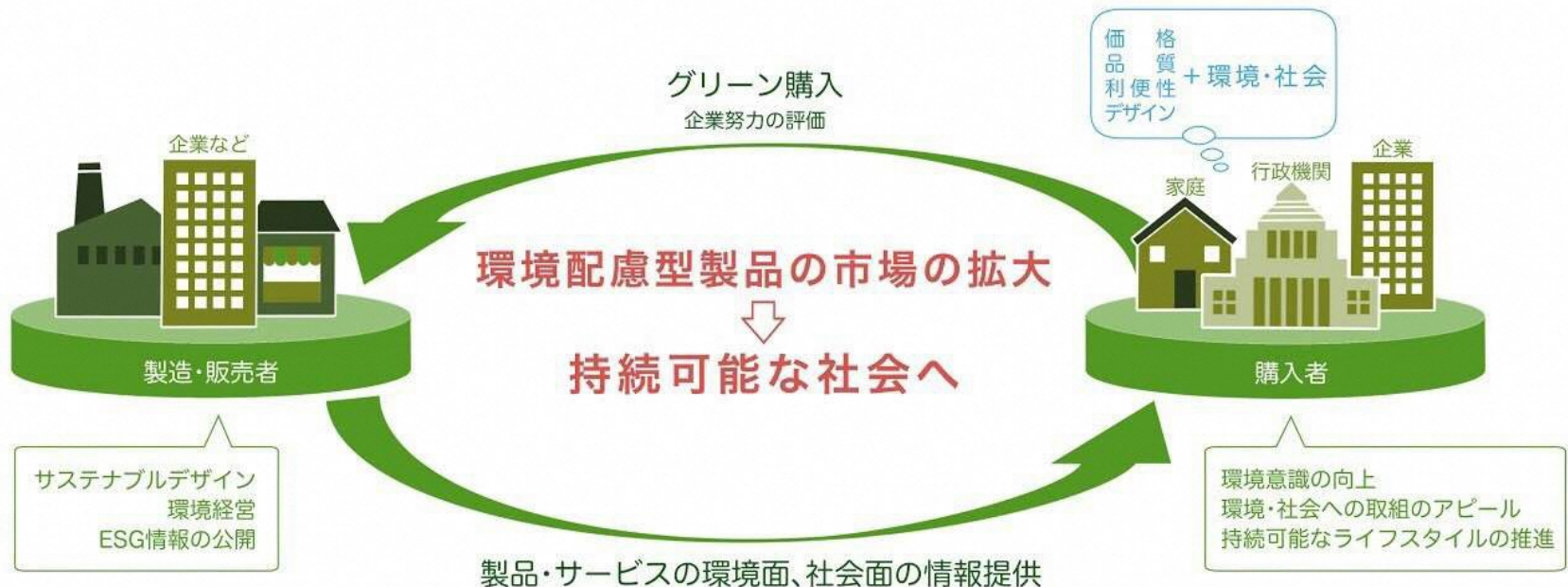
●発電状況：よく晴れている日では、最大17.9kWh（6月）、一日中雨の日は、最小1.0kWh（10月）。晴と雨でこんなに違う。1年では、約3300kWh（9万円分）になり、自給率は36%。（家族が多いと、屋根上の発電だけでは全然足りません。）



# 買い物は投票と同じ

## グリーン購入とは？

購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境や社会への影響を考え、環境負荷ができるだけ小さく、かつ社会面に配慮した製品やサービスを、環境負荷の低減や社会的責任の遂行に努める事業者から優先して購入すること。



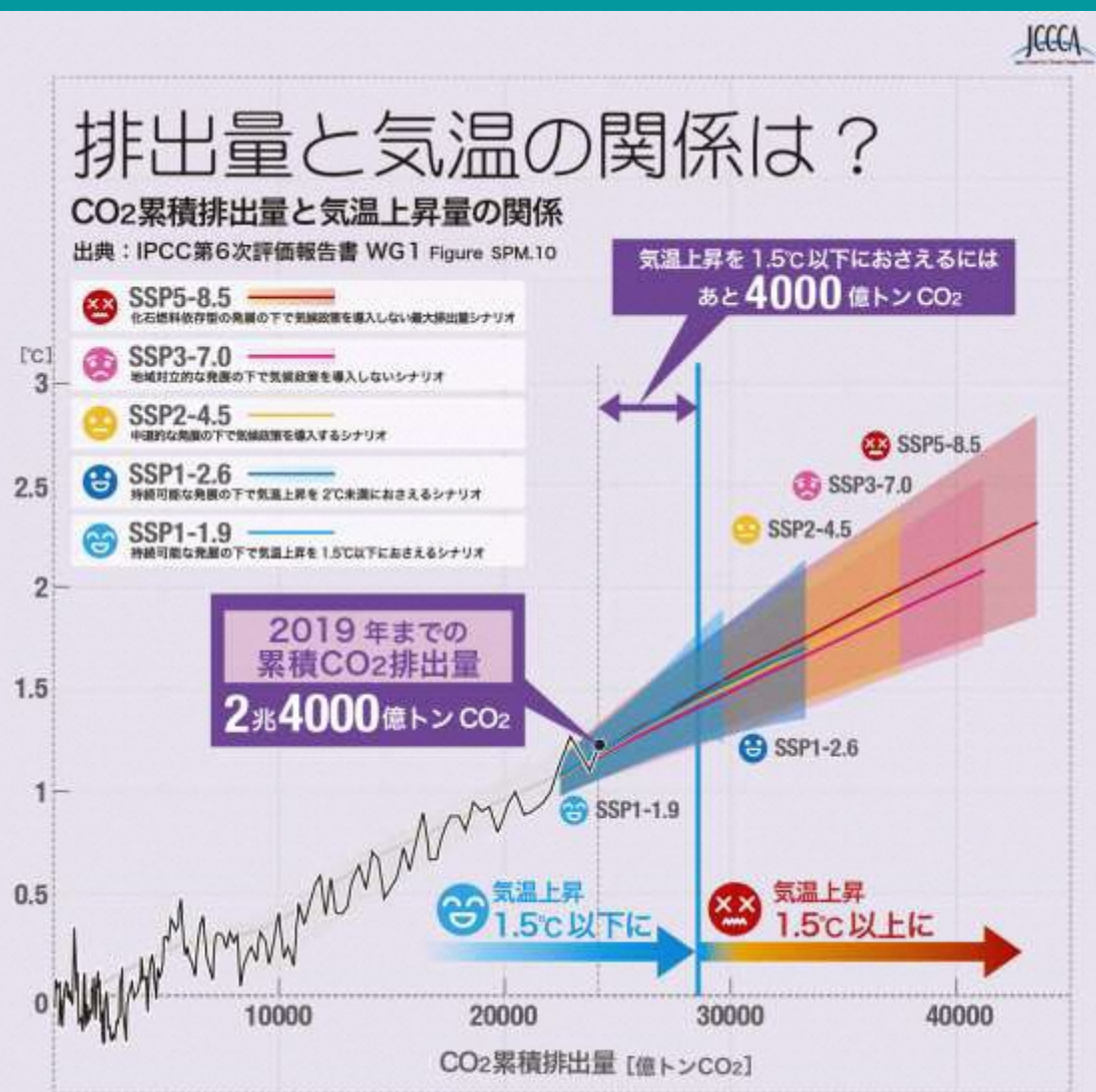
出典) グリーン購入ネットワーク

<https://www.gpn.jp/about/>



求められているスピード

# 既に1.1℃上昇している



出典) 温室効果ガスインベントリオフィス／  
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブ  
サイト (<https://www.jccca.org/>) より





ひとりひとりのアクションで  
社会が変わるのか？



# マインドチェンジ

## ✓ゼロカーボン社会の共通認識

経済性と社会的課題の解決は両立できる  
脱炭素やサステナブルを訴求し成長できる  
エネルギー問題から自立する



⇒企業にとっては **ビジネスチャンス**  
⇒行政・市民にとっては **豊かな暮らし**

# 2050年の豊かな ゼロカーボン社会を思い描いて

世界 **目標** ネットゼロ2050ロードマップ、パリ協定

日本 **目標** 第6次エネルギー基本計画

多摩市 **目標** 多摩市みどりと環境基本計画  
再生可能エネルギービジョン

事業者 **目標** ゼロカーボン目標



アシスト・協力

“我慢せず  
長続きするやり方で”



# ACT LOCALLY

## 行政や企業に市民の声を届ける

# 気候市民会議 (武蔵野市、所沢市、多摩市、中央区)

多摩市

本文へ移動 音声で読み上げる やさしい日本語 ふりがな Foreign language 文字サイズ

手続き・ごみ・税・暮らし | 子育て応援サイト | 健康・福祉・コミュニティ | 市政情報・職員採用 | 施設案内

検索ワード

現在の位置: [トップページ](#) > [手続き・ごみ・税・暮らし](#) > [住まい・生活](#) > [環境の取り組み](#) > [環境に関する多摩市の取り組み](#) > 多摩市気候市民会議を開催します

## 多摩市気候市民会議を開催します

ページ番号1011170 | 更新日 2023年6月28日 印刷 大きな文字で印刷

いま世界中のいたる所で地球温暖化の影響による気候変動が脅威となっています。気候危機とも言われる状況を回避するためには、今後8年間で温室効果ガスの排出量を半減させる必要があります。私たちが求める抜本的な変革が求められています。

そのため、多摩市では、令和2年6月に他市に先駆けて「多摩市気候非常事態宣言」を行い、市民の皆さんとともに喫



参考記事) 政治を変える挑戦 首都圏で広がる気候市民会議ってなに? 背景にある選挙の弱点 東京新聞TOKYO Web  
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/209283>

多様な声聞き 地球温暖化対策 無作為抽出の市民ら44人 多摩市が「気候会議」初会合 東京新聞TOKYO Web  
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/249881>

# 企業へメッセージを送る

- ✓ 「パックスナチュロン」の太陽油脂株式会社の例
- ✓ デンタル4種「キャップの開閉に手間がかかりキャップを落としたり、きちんと閉まらない時がある」というご意見あり。
- ✓ ワンタッチキャップへ変更。
- ✓ 同社が「持続可能なパーム油」へ取り組むきっかけもお客様の質問からはじまる。

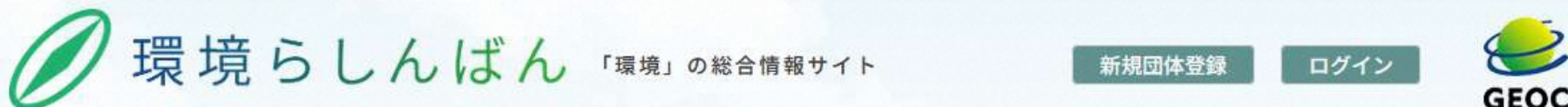


改善提案や **応援メッセージ** を送る





# イベント・企画に参加し、活動を盛り上げ、交流・フィードバックする



- 団体情報
- イベント  
セミナー
- ボランティア  
インターン
- 職員募集
- 助成金
- 公募  
キャンペーン
- 書籍  
レポート

環境に関するイベント・ボランティア・キャンペーンなど、さまざまな情報を検索できます。

## ★ イベント・セミナー



絞り込み検索

キーワード

検索

開催地

イベント名をクリックすると詳細画面へ移動します。

開催日 降順

現在募集中

27 件

総数

8475 件

1/848ページ



イベント・セミナー

東京ネイチャーアカデミー 2023 ～東京で「自然に学び、出会いを  
楽しみ、環境を考える」大人の講座～

東京都

# 出資して市場を育てる

効果あり

報道関係の皆様へ

Press Release



福知山市  
Fukuchiyama City

2021年11月22日  
京都府福知山市

福知山市の脱炭素、再エネ取組、2050年再エネ100%を目指し加速！！

市民出資による公共施設でのオンサイト PPA 事業

(第三者所有モデルによるエネルギーの地産地消)

再エネ100宣言  
RE Action

福知山市では、SDGsや世界的な気候変動対策、脱炭素社会の動きに呼応し、令和3年2月に「ゼロ・カーボンシティ」を宣言するとともに、6月には「再エネ100宣言 RE Action」に参加したところ。この度、3か所の公共施設を活用した太陽光発電をオンサイト PPA モデルで始めるとともに、新たに公用車4台をEV等に切り替えます。今後も、このような取り組みを進め、脱炭素を加速していきます。

## 1 公共施設でのオンサイト PPA 事業（第三者所有モデル）を市民出資を活用し開始

### (1) 事業概要

「地域における地域貢献型再生可能エネルギー事業の推進に関する協定」(5者連携協定)の枠組みにより、市内公共施設の3か所で、たふたふエナジー発電合同会社(たふたふエナジー)100%出

出典) 福知山市プレスリリース <https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/uploaded/attachment/28531.pdf> 17

# マインドチェンジ

## ✓脱炭素社会の共通認識

経済性と社会的課題の解決は両立できる  
脱炭素やサステナブルを訴求し成長できる  
エネルギー問題から自立する



⇒企業にとっては **ビジネスチャンス**  
⇒行政・市民にとっては **豊かな暮らし**



The background of the slide is a composite image. The upper portion features three wind turbines against a soft, hazy sky with a hint of sunset or sunrise. The lower portion shows a close-up of a person's hands writing on a notepad with a red pencil. A laptop is partially visible in the foreground, and several pens are lying on the desk. A solid teal rectangular box is superimposed over the center of the image, containing the title text.

# 具体的事例

# 再エネ100宣言 RE Action

再エネ 100% で事業活動を行うことは人と自然が持続していく未来への道筋。  
「再エネを購入します」という声はその道筋を進む推進力となる。

企業、自治体、教育機関、医療機関等の団体が  
使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、  
再エネ100%利用を促進する枠組み

## 参加要件

- ① 使用電力を100%再エネに転換する目標設定と公表
- ② 再エネに関する政策エンゲージメントの実施
- ③ 消費電力量・再エネ率を毎年報告

協議会を5団体で構成

- ・グリーン購入ネットワーク（GPN）
- ・イクレイ日本（ICLEI）
- ・公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）
- ・日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）
- ・一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット（JNCCA）

# 2019年10月『再エネ100宣言 RE Action』発足

**RE100**  
CLIMATE GROUP



- ・グローバル企業
- ・社会的インパクトが大きい企業
- ・消費電力量が50GWh以上

**再エネ100宣言**  
RE Action



- ・消費電力量が50GWh未満の企業
- ・自治体
- ・教育・医療機関

\*The Climate Group、CDPより、RE100イニシアティブに関連して、再エネ100宣言 RE Actionへの推奨を頂いています（但し、RE100は再エネ100宣言 RE Actionの運営に直接関与しておらず、完全に分離した運営がなされています）。



## RE100参加日本企業(参加順 2023年7月現在 80社)

株式会社リコー 積水ハウス株式会社 アスクル株式会社 大和ハウス工業株式会社 ワタミ株式会社 イオン株式会社  
城南信用金庫 株式会社丸井グループ 富士通株式会社 株式会社エンビプロ・ホールディングス ソニー株式会社  
芙蓉総合リース株式会社 生活協同組合コープさっぽろ 戸田建設株式会社 コニカミノルタ株式会社 大東建託株式会社  
株式会社野村総合研究所 東急不動産株式会社 富士フイルムホールディングス株式会社 アセットマネジメントOne株式会社  
第一生命保険株式会社 パナソニック株式会社 旭化成ホームズ株式会社 株式会社高島屋 株式会社フジクラ 東急株式会社  
ヒューリック株式会社 株式会社LIXIL 楽天株式会社 株式会社安藤・間 三菱地所株式会社 三井不動産株式会社  
住友林業株式会社 小野薬品工業株式会社 BIPROGY株式会社 株式会社アドバンテスト 味の素株式会社 積水化学工業株式会社  
株式会社アシックス J. フロント リテイリング株式会社 アサヒグループホールディングス株式会社  
キリンホールディングス株式会社 ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
株式会社ノーリツ 株式会社村田製作所 いちご株式会社 株式会社熊谷組 株式会社ニコン 日清食品ホールディングス株式会社  
株式会社島津製作所 東急建設株式会社 セイコーエプソン株式会社 TOTO株式会社 花王株式会社 日本電気株式会社  
第一三共株式会社 セコム株式会社 東京建物株式会社 エーザイ株式会社 明治ホールディングス株式会社 西松建設株式会社  
カシオ計算機株式会社 野村不動産ホールディングス株式会社 株式会社資生堂 株式会社オカムラ 株式会社T&Dホールディングス  
ローム株式会社 大塚ホールディングス株式会社 インフロニア・ホールディングス株式会社 ジャパンリアルエステイト投資法人  
Zホールディングス株式会社 森ビル株式会社 浜松ホトニクス株式会社 日本碍子株式会社 TDK株式会社 住友ゴム工業株式会社  
HOYA株式会社 アルプスアルパイン株式会社 プライム ライフ テクノロジーズ株式会社

# 再エネ100宣言 RE Action

中小企業・行政機関・非営利団体の“脱炭素行動”を可視化  
329団体が参加





## 事例１・・・脱炭素経営のお手本

### 株式会社大川印刷 (神奈川県横浜市)



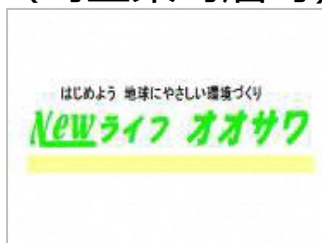
- 日本で初めてとなる、**初期投資0円太陽光パネル設置事業**。
- ソーラーフロンティア株式会社が、90kWの太陽光発電設備を所有。2019年4月より通電。
- 株式会社大川印刷は、**太陽光パネルで発電した電力を購入し自家消費**。
- ソーラーフロンティア株式会社は17年の**契約期間内に設置・維持管理にかかる経費を回収**予定。
- 本社工場の20%の電力を太陽光発電で賄い、残り80%を**青森県横浜町の風力発電**から、みんな電力株式会社により電力購入。
- 横浜市と東北12市町村との連携協定に基づく、横浜市内企業6社の内の1社として電力使用開始。
- 横浜市地球温暖化対策推進協議会も参画し、**地元事業者がパネルの設置・維持管理**などを担う。
- 印刷事業。



株式会社大川印刷の工場に設置された太陽光発電

## 事例2・・・ソーラーシェアリング防災拠点として地域連携

### New ライフ オオサワ (埼玉県寄居町)



敷地内に設置した  
ソーラーパネル  
(ソーラーシェアリング  
・追尾型)



- 家電品販売、住宅設備工事。
- 敷地内に100kWの太陽光発電を設置。
- 追尾型と固定タイプのソーラーパネルで発電能力の実測中。
- **ソーラーシェアリングで野菜を育てる。**
- 井戸水もあり、日中はコンセントから給電も可能なため、**本格的な防災拠点**になる。
- **停電時には地域住民にコンセントの電力を供給。**
- 停電時の操作方法を、**地域の自治会へ現地で説明**（年一回）。
- 散歩道に面するため休憩のためのベンチを設置。
- 災害時拠点周知のための看板を設置。
- 電気自動車を2台導入し蓄電池としても活用。

＜看板掲示内容＞ 牟礼区緊急  
災害時電気供給所 晴天時は  
最大3000台のスマホの充電可能



# 企業＋市民の協力事例

～お客さま参加型の再エネ循環プラットフォーム構築にむけて～  
「イオンモール堺北花田、イオンモール堺鉄砲町、イオンモール橿原」  
**EV 放電「V2AEON MALL」サービス開始**



お客さま参加型の再エネ循環プラットフォームを整えます

従来のV2H（車（Vehicle）から家（Home））から進化させた  
V2 AEON MALL（車からイオンモール）を推進します。



家庭で発電した余剰電力をEVでモールに放電し放電量に応じてポイントなどを進呈



出典） イオンモール株式会社 ニュースリリース

<https://www.aeonmall.com/wp/wp-content/uploads/2023/05/311kbyte.pdf>




# 企業＋自治体の連携事例

---


- ✓日産自動車株式会社 ブルー・スイッチ  
「ブルー・スイッチはEVの持つ価値を活用し、  
地域課題解決を図る活動」
- ✓全国の自治体と災害連携協定。
- ✓停電時にEVを無償貸与して電源に。






# 休憩





グループ  
ワーク



# グループワークの目的と進め方

しくみ・  
体制・  
広げ方

## 全体の目的

市民提案をとりまとめよう

### STEP 1

将来像や取組提案  
の内容を確認し、  
深める

### STEP 2

実現に向けた  
協働の体制や  
プロセスを考える

# テーマに分かれて議論していきます

アンケート回答の関心分野をもとに、グループ分けしています

1G  
食・消費

2G  
ごみ・資源循環

3G  
住まい・  
暮らし・健康

4G  
エネルギー

5G  
移動

7G  
イノベーション・  
新技術・研究

6G  
学び・情報発信

# 自己紹介

## 1人ずつ、自己紹介しよう

- お名前
- お住まいのエリア



# STEP 1

# 取組提案の整理を確認し、深める



「市民提案」の  
右ページの内容

## 食・消費

将来像・取組提案（アイデア）を確認しよう

30年後の 環境・社会のイメージ	取組提案	ヒント
食やエネルギーの 自給率が高いまち	(1) 個人> 地元のお店で地域の野菜や食品を買う・地産地消を実現する [重 3.5、難 2.5]	
リデュース・リユース・ リサイクル、シェアが 進んだ、ごみや無駄な ロスがないまち	(3) 個人> 食べられる量を調理し、食べ残しを無くす [重 4.2、難 2.3]	
	(5) まち> 長寿化・耐久化により、大量生産・大量消費社会からの転換を図る（GDP が変わる新しい指標） [重 4.2、難 3.3]	
	(2) 個人> 環境に配慮したものや、愛着の湧く良いものを選び、長く使う [重 4.1、難 2.5]	
	(6) まち> サブスクリプションやリースなど、消費型の企業モデルを見直す [重 4.0、難 3.1]	
	(4) 個人> 電子媒体（デジタル）を使うことで、本などの消費を減らす [重 3.2、難 3.3]	

## 確認すること

専門家の「ヒント」を  
参考にしよう

- 追加すべき内容はあるか？
- 取組提案の内容について、提案に盛り込みたい／大切にしたいキーワードや思いは？



## STEP 2

# 協働の体制やプロセスを考える



「市民提案」の  
左ページの内容

グループ 1	テーマ <b>食・消費</b>	第4回多摩市気候市民会議	
<b>テーマに関する提言</b>			
まず何から始めるべきか？	最終的には何をめざすか？	プロセスで大切にすることは？	
<b>提言の実現に向けたロードマップ</b>			
現在	2025年(数年後)	2030年	2050年
<b>実現を広げるための協働でできること・それぞれの役割</b>			
市民・地域団体	行政	企業	

### 提言のポイント

何を目指し、何からはじめ、プロセスで大切にすることは？

30年後(2050年ごろ)までにいつ、どの取組提案を実施していく必要があるか？

取り組みを実現し、広げていくためには、市民・市民団体・行政・企業のそれぞれの役割は？

# 各グループの成果の共有

## 各グループで取りまとめた グループワークの成果を発表しよう

グループ 1 テーマ 食・消費 第4回多摩市地域市民会議

テーマに関する提言

まず何から始めるべきか？ 最終的に何をめざすか？ プロセスで大切にすることは？

提言の実現に向けたロードマップ

現在 2025年(数年後) 2030年 2050年

実現を広げるための協働でできること・それぞれの役割

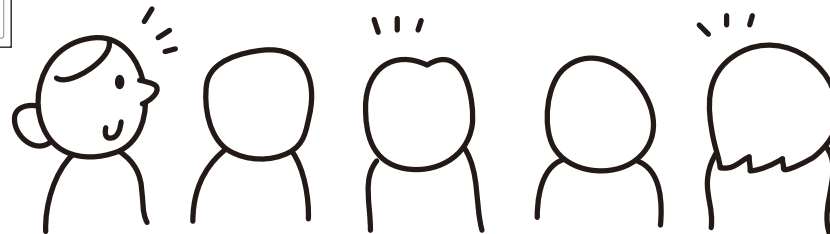
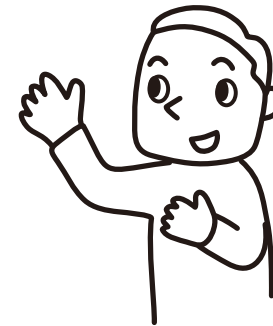
市民・市民団体 行政 企業

食・消費 将来像・取組提案(アイデア)を整理しよう

取組提案	コメント
(1) 輸入・地元産品と地域の特産品を繋ぎ、地域活性化を図る【議案、第1回】	
食や生活必需品の供給が安定する	
(2) 輸入・食べられる資源を再利用し、食べ残しを減らす【議案、第2回】	
(3) 輸入・食品ロス・食品ロス削減、大量消費社会からの転換を図る【SDGの取組を新しい役割】【議案、第3回】	
(4) 輸入・環境に配慮したものを、食卓の端に届くようにする【議案、第4回】	
(5) 輸入・サブスクリプションサービスなど、消費行動の変革を促す【議案、第5回】	
(6) 輸入・電子(デジタル)を取りこみ、食の安全を確保する【議案、第6回】	

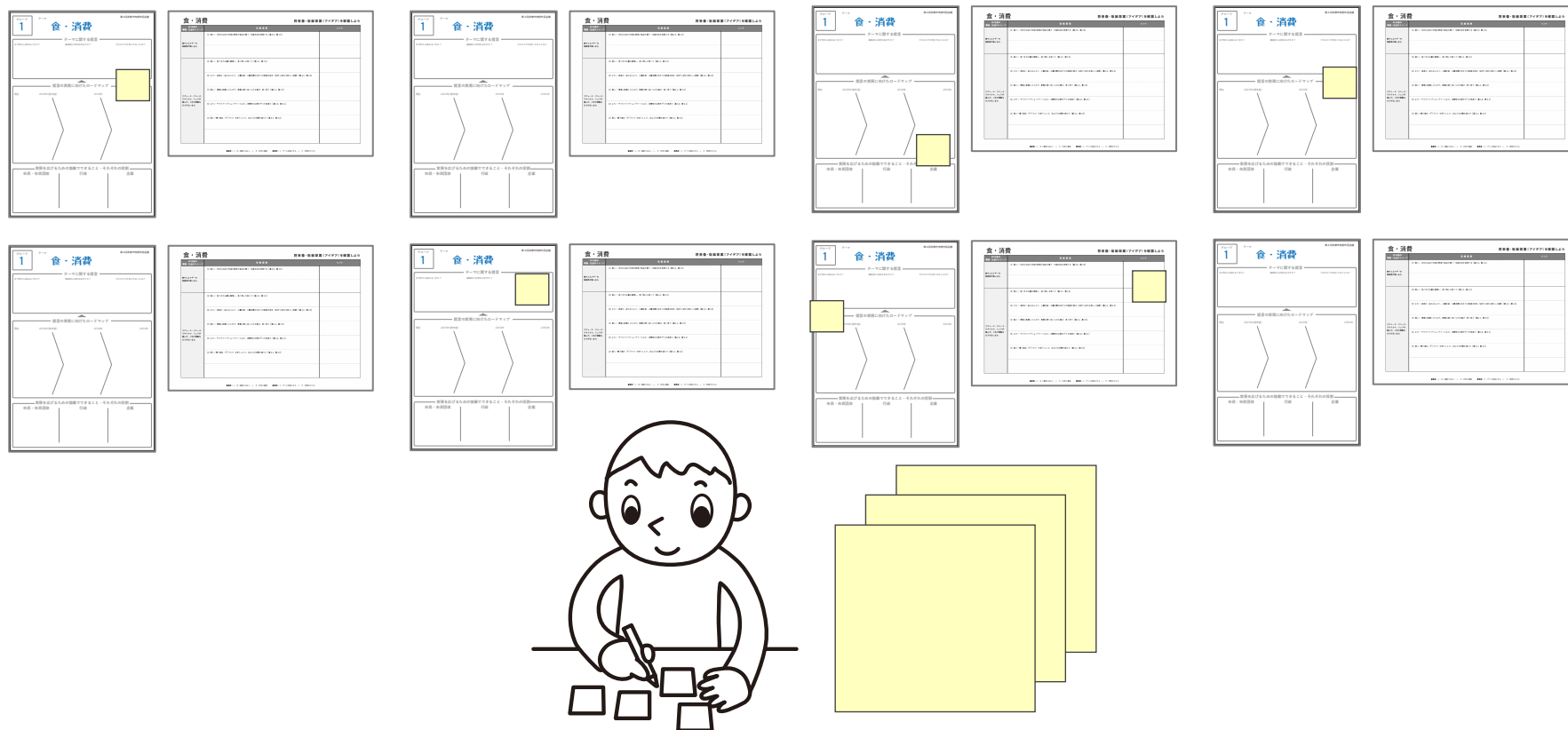
議案案 1 : 食の安全の確保 2 : 食の安全の確保 3 : 食の安全の確保 4 : 食の安全の確保 5 : 食の安全の確保 6 : 食の安全の確保


私たちの  
グループでは・・・




# 提案をさらに豊かにしよう

発表を聞いて、提案をさらに豊かにする意見や感想を付箋に書いて、シートに貼っていこう。





グループ  
ワーク  
スタート！





# 次回の ご案内



第5回


# まとめ・振り返り

とりまとめを確認しよう・  
気候市民会議を振り返ろう


7月29日（土） 13:30～17:15

西会議室1階 第1～3会議室

本日と  
同じ会場



アンケート  
記入のお願い





# 第4回アンケートについて

---

手元の紙またはQRコードから回答をお願いいたします。  
スマートフォンの方は横向きでの回答がオススメです！



お疲れさまでした！次回もよろしくお願いいたします。